

# Altova LicenseServer

## ユーザーマニュアル

# Altova LicenseServer ユーザーマニュアル

All rights reserved. No parts of this work may be reproduced in any form or by any means - graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or information storage and retrieval systems - without the written permission of the publisher.

Products that are referred to in this document may be either trademarks and/or registered trademarks of the respective owners. The publisher and the author make no claim to these trademarks.

While every precaution has been taken in the preparation of this document, the publisher and the author assume no responsibility for errors or omissions, or for damages resulting from the use of information contained in this document or from the use of programs and source code that may accompany it. In no event shall the publisher and the author be liable for any loss of profit or any other commercial damage caused or alleged to have been caused directly or indirectly by this document.

発行日: 2019

(C) 2019 Altova GmbH

---

# 目次

<b>Altova LicenseServer</b>	<b>1</b>
1 一般的な情報	2
1.1 Altova ライセンスの種類	2
1.2 プロセッサコアとライセンス	4
1.3 ネットワーク情報	5
1.4 中央サーバー上の Altova 製品	7
1.5 Altova.com との通信	8
1.6 Altova ServiceController (Windows のみ)	8
1.7 フェールオーバー LicenseServer	9
1.8 ライセンスのチェックアウト	10
1.9 LicenseServer の更新	11
1.10 パスワードのリセット	12
2 LicenseServer のインストールと開始(Windows)	13
2.1 LicenseServer のインストール (Windows)	13
2.2 LicenseServer をサービスとして開始する (Windows)	14
2.3 LicenseServer の構成ページの開きかた (Windows)	14
3 LicenseServer のインストールと開始 (Linux)	18
3.1 LicenseServer のインストール (Linux)	18
3.2 LicenseServer をサービスとして開始する (Linux)	21
3.3 LicenseServer の構成ページの開きかた (Linux)	21
4 LicenseServer のインストールと開始 (macOS)	24
4.1 LicenseServer のインストール (macOS)	24
4.2 LicenseServer をサービスとして開始する (macOS)	26
4.3 LicenseServer の構成ページの開きかた (macOS)	26
5 製品の登録と登録の解除	29
5.1 Altova デスクトップ製品の登録	29
5.2 DiffDog Server の登録	30
5.3 FlowForce Server の登録	31
5.4 MapForce Server の登録	36
5.5 MobileTogether Server の登録	38
5.6 RaptorXML(+XBRL) Server の登録	39
5.7 Style Vision Server の登録	40

5.8	製品の登録の解除 .....	42
6	製品ライセンスのアップロードと認証 .....	43
6.1	ライセンスの LicenseServer へのアップロード .....	43
6.2	ライセンスの認証 .....	44
6.3	ライセンスのステータス値 .....	44
7	製品ライセンスを割り当てる方法 .....	47
7.1	登録された製品へのライセンスの割り当て .....	47
7.2	ライセンスの割り当ての解除 .....	50
7.3	割り当て済みのライセンスの編集 .....	50
8	構成ページ レファレンス .....	52
8.1	ライセンスプール .....	52
8.2	クライアント管理 .....	55
8.2.1	ライセンスの割り当て .....	57
8.2.2	評価ライセンスのリクエスト .....	59
8.2.3	製品とクライアントの登録の解除 .....	60
8.2.4	異なる名前で登録されている1台のマシン .....	61
8.3	クライアントの監視 .....	62
8.4	設定 .....	63
8.4.1	メンテナンス .....	64
8.4.2	フェールオーバー LicenseServer 設定 .....	64
8.4.3	LicenseServer パスワード .....	66
8.4.4	接続のテスト .....	67
8.4.5	ライセンスのチェックアウト .....	67
8.4.6	Web UI .....	68
8.4.7	プロキシサーバー .....	68
8.4.8	ライセンスサービス .....	69
8.4.9	通知メール .....	70
8.4.10	その他 .....	71
8.5	メッセージ、ログアウト .....	71

## インデックス

72

## Altova LicenseServer

**Altova LicenseServer** (今後は略して **LicenseServer** と称されます) は、Altova 製品のライセンスを集中して中央管理する場所です。ネットワークで作動する Altova アプリケーションは LicenseServer からライセンスを割り当てられます、ですから、管理者はライセンスを管理及び監視する柔軟性を有します。

### 現在のバージョン: 3.0

\* LicenseServer 3.0 は、以下にライセンスを与えるために使用することができます (i)バージョン 2019 または以降の Altova ソフトウェア製品、および (ii) Altova MobileTogether Server バージョン 5.1 または以降。個々にリストされているよりも新しい Altova 製品バージョンに対してはライセンスを与えることができません。互換性に関する情報に関しては、次を参照してください: [LicenseServer の更新](#)

### Altova LicenseServer ライセンス供与のプロセス

LicenseServer を無料で [Altova Web サイト](#) からダウンロードすることができます。can be downloaded free of cost from the. LicenseServer を介して、Altova サーバー製品にライセンスを割り当てるには、以下の手順を踏みます:

1. LicenseServer に [Altova 製品を登録](#) します。Altova 製品から登録を行うことができます。
2. LicenseServer のライセンスプールに [Altova 製品ライセンスをアップロード](#) します。
3. 登録済みの製品に [アップロードされている製品ライセンスを割り当て](#) ます。

使用することのできる機能に関しては、[一般的な情報のセクション](#) と [構成ページのレファレンス](#) を参照してください。

**メモ:** [LicenseServer 構成ページ](#) は SSL をサポートしません。

### このドキュメントについて

このドキュメントは、以下のパートに整理されています:

- [一般的な情報](#)
- [Windows、Linux と macOS 上のインストールとセットアップ](#)
- [製品を LicenseServer に登録、および、登録の解除](#)
- [製品ライセンスをアップロードしてアクティブ化する方法](#)
- [製品ライセンスを割り当てる方法](#)
- [構成ページレファレンス](#)

最終更新日: 2019 年 02 月 12 日

## 1 一般的な情報

このセクションには LicenseServer に関する一般的な情報が含まれています:

- [Altova ライセンスの種類](#)
- [プロセッサコアとライセンス](#)
- [ネットワーク情報](#)
- [中央サーバー上の Altova 製品](#)
- [Altova.com との通信](#)
- [Altova ServiceController](#)
- [フェールオーバー LicenseServer](#)
- [ライセンスのチェックアウト](#)
- [LicenseServer の更新](#)
- [パスワードのリセット](#)

### 1.1 Altova ライセンスの種類

#### Altova デスクトップ製品

デスクトップユーザーライセンスには3つの種類が存在します:

- **インストール済みのライセンス:** 各ライセンスは指定されたコンピューターの数のために使用されます。例えば、10-インストール済みのライセンスを購入した場合、10 台までのコンピューターでソフトウェアをインストールし、使用することができます。
- **同時ユーザー:**  $n$  同時実行ユーザーのためのライセンスにより以下が許可されます: (i)  $10n$  台のコンピューターへインストールすることができます (ii)  $n$  人までのユーザーが一度に同時にソフトウェアを使用することができます。例えば、20 同時実行ユーザーライセンスを購入するとソフトウェアを 200 台のコンピューターまでインストールすることができ、20 台のコンピューターで一度に使用することができます。
- **名前付きユーザー:** 名前付きのユーザーライセンスはソフトウェアを使用するユーザーの数の指定を承認します。LicenseServer にソフトウェアが登録されている場合、ソフトウェアを登録したユーザーのユーザープリンシパル名 (UPN) も (他の登録データと共に)登録されます。名前が付けられているユーザーライセンスは UPN に登録されます。UPN がライセンスを受け取ると、この UPN を持つユーザーはネットワーク上のマシンにこの UPN を使用してログインしソフトウェアを使用することができます。しかしながら、名前を持つユーザーはソフトウェアのインスタンス1つのみを使用することができます。このライセンスを使用して、結果、UPN を使用してログインし、ユーザーは仮想マシンを含むネットワーク内の異なるコンピューター上で作業することができます。

**メモ:** インストール済みのライセンスと同時実行ユーザーライセンスの場合、LicenseServer は、マシンのホスト名、または、IP アドレスを使用してライセンスを割り当て、割り当て済みのライセンスのカウントを保ちます。クライアントの認識プロセスに関する詳細は、[ネットワーク情報](#)を参照してください。

**メモ:** LicenseServer にソフトウェアを登録する際、(他の登録データと共に)ソフトウェアを登録したユーザーのユーザープリンシパル名 (UPN) も登録されます。名前が付けられているユーザーライセンスは UPN に割り当てられます。UPN がライセンスを受け取ると、この UPN を持つユーザーはこの UPN を使用してネットワーク上のマシンにログインして、ソフトウェアを使用することができます。このライセンスを使用して、ですから、UPN を使用してログインし、ユーザーは (仮想環境を含む)ネットワーク内の異なるコンピューターで作業することができます。

### Altova デスクトップ製品のリスト

Authentic Desktop、DatabaseSpy、DiffDog、MapForce、SchemaAgent、StyleVision、UModel、XMLSpy。

### Altova MissionKit ライセンス

[Altova MissionKit](#) は Altova デスクトップ製品のパッケージです。Altova MissionKit ライセンスは、MissionKit パッケージ内のデスクトップ製品の個別のライセンスから構成されています。これら個別の製品ライセンスには、異なる、一意のキーコードが存在しますが、同じMissionKit バンドル ID を有しています。Altova MissionKit ライセンスライセンスプールにアップロードすると、個別の製品ライセンスが ([Altova MissionKit ロゴ](#) のロゴがそれぞれのライセンスの横に表示され) ライセンスプール内に表示されます。これらの製品ライセンスの一つを特定のクライアント(マシン、または、名前を持つユーザー)に割り当てると、MissionKit バンドルの他の製品もそのクライアントに割り当てられます。この結果、その特定の MissionKit バンドルの他の製品は他のクライアントに割り当てられることができません。

### Altova MissionKit 製品のリスト

DatabaseSpy、DiffDog、MapForce、SchemaAgent、StyleVision、UModel、XMLSpy。

### Altova サーバー製品

サーバーソフトウェアがインストールされているコンピューターの **物理的なコア** をベースにしてすべてのサーバー製品のライセンスは供与されています。

- 各ライセンスはライセンス供与されているコアの数量を指定します。
- $n$  つの数量のコアを持つコンピューターにサーバー製品がインストールされている場合、ライセンスは  $n$  つ、または、それ以上のコアを認証する必要があります。例えば、RaptorXML Server が 8 コアを持つコンピューターにインストールされている場合、RaptorXML Server ライセンスは8つまたはそれ以上のコアを認証する必要があります。
- ライセンスを必要なコア数に達するまで組み合わせることができます。例えば、RaptorXML Server が 8 コアが存在するコンピューターにインストールされている場合、それぞれ4つのカウントのコアを持つ、2つの RaptorXML Server ライセンスを使用することができます。

**メモ:** Altova サーバー製品は仮想環境で使用することはできません。

### Altova サーバー製品のリスト

DiffDog Server、FlowForce Server、MapForce Server、MobileTogether Server、RaptorXML(+XBRL) Server、StyleVision Server。

### 異なるLicenseServers を使用するシナリオ

LicenseServer の [ライセンスプール](#) は以下を含むことができます:

- **グループ1 ライセンス:** インストール済みライセンス、およびまたは同時進行のユーザーライセンス、**または**
- **グループ2 ライセンス:** 名前付きユーザーのライセンス。

両方のグループからライセンスを使用する場合、個別の LicenseServer を各グループのために使用する必要があります。LicenseServer がライセンスプール内に両方のグループからのライセンスが存在する状況を検知すると、これを通知し、適切なステップを推薦します。(通常、ライセンスのグループをこのグループ専用の個別の LicenseServer に移動します)。

#### 異なるライセンスの種類のために LicenseServers を区別することが強く奨励されています

個別の LicenseServer を3つのライセンスの種類のために個別に使用することが奨励されています。これを行うことにより、エンドユーザーが適切な LicenseServer に接続できることを保証することができます: (i) クライアントに対応する種類のライセンスを確認し、(ii) 正しい種類のライセンスを取得することができます。

### 製品を再登録する場合

LicenseServer バージョンを 3.0 以前から LicenseServer 3.0 以降にアップグレードする場合、ライセンスプール内に古い製品の登録が検知される可能性があります (バージョン 3.0 から搭載されている) 新規の登録フォームと互換性がない場合があります。このような状況が発生した場合、古い製品の登録は削除される必要があり、製品は再度登録される必要があります。LicenseServer はこの状況をメッセージで通知し、必要なステップを取るようプロンプトします。

## 1.2 プロセッサコアとライセンス

Altova サーバー製品へのライセンスは製品マシンで **物理的なプロセッサコア**の数をベースにしています。例えば、デュアル コア プロセッサはコアが 2 つ、クアッド コア プロセッサはコアが 4 つ、ヘキサ コア プロセッサはコアが 6 つ等々。特定のサーバーマシン上の製品にライセンスされたコアの数は、物理または仮想マシンで、サーバーで使用可能なコア数よりも多くまたは同数である必要があります。例えば、サーバーが 8 コアの場合、8 コアライセンスを購入する必要があります。また、ライセンスを合計してコア数を満たすこともできます。2 つの 4-コアライセンスは、8-コアライセンスの代わりにオクタル コアサーバーで使用できます。

大きい CPU コアを持つコンピューターサーバーを使用し、少量を処理する場合、少ないコアを割り当てる仮想マシンを作成し、その数のライセンスを購入することもできます。このようなデプロイは、もちろん、コンピューターの全ての利用可能なコアが利用されている場合に比べ、処理スピードが落ちます。

**メモ:** 各 Altova サーバー製品のライセンスは、使用されていないライセンス容量があっても、1 度に 1 つのクライアントマシンにだけしか使用することができません。例えば 10-コアライセンスが 6 CPU コアのクライアントマシンに使用される場合、残りの 4 コアライセンスは他のマシンで同時に使用することができません。

### 単一スレッド実行

ライセンスプール内で 1 コアのための Altova サーバー製品ライセンスが使用することができる場合、複数のコアを持つマシンを 1 つのコアライセンスに割り当てることができます。このような場合、マシンはその製品を単一のコアで作動します。(マルチコアでは可能な) 複数のスレッドを使用することができないため、処理は遅くなります。製品はそのマシン上で単一スレッドモードで実行されます。

単一 コアのライセンスを複数のコアのマシンに割り当てるには、その製品のために **単一スレッド実行**



に制限 チェックボックスを選択します。

**MobileTogether Server (MTS)** の場合、MTS コアライセンスのために単一スレッド実行が選択されている場合、一台のモバイルデバイスのみが MobileTogether Server に随時接続することができます。この場合、2台目のデバイスが MobileTogether Sever に接続すると、2番目のデバイスがそのライセンスを引継ぎます。最初のデバイスは接続することができなくなり、この影響のためエラーメッセージを受け取ります。

## 1.3 ネットワーク情報

Altova LicenseServer は、ライセンスを必要とする Altova 製品が作動するすべてのクライアントからアクセスできるサーバーマシンにインストールされている必要があります。クライアントとサーバーのファイアウォールは、LicenseServer が正しく作動するために必要な LicenseServer からへのネットワークトラフィックのフローを許可しなければなりません。

LicenseServer マシンでは **ポート 35355** がライセンス配布用に使われます。ですので、クライアントマシンとネットワークトラフィックのために開かれている必要があります。

以下が LicenseServer のデフォルトのネットワークパラメータおよび必要条件です:

- *LicenseServer* ライセンス配布用:  
以下の一方または両方  
IPv4 TCP 接続 ポート 35355  
IPv6 TCP 接続 ポート 35355

管理タスクに関しては、LicenseServer はポート 8088 を使用する Web インターフェイスからアクセスできます。使用するポートに関しては [条件に合った構成](#) を参照してください。

### 製品が登録されている LicenseServer に関する情報

各製品の登録のために、製品が登録されている LicenseServer に関する情報が `LICSVR` ファイル内に保存されています。このファイルは次の場所に保管されています:

#### インストール済みライセンスと同時実行ユーザーライセンス

- `%ProgramData%\Altova\<ProductName><Version>\<ProductName>.licsvr`
- サンプル: `C:\ProgramData\Altova\XMLSpy2019\xmlspy.licsvr`

#### 名前が付けられているユーザーライセンス

- `%UserProfile%\Documents\Altova\<ProductName><Version>\<ProductName>.licsvr`
- サンプル: `C:\Users\nicky\Documents\Altova\XMLSpy2019\xmlspy.licsvr`

### LicenseServer がクライアントを識別する方法

マシン上の Altova 製品が LicenseServer に登録されると、マシンの ID (ホスト名と IP アドレス) およびマシンに登録されているユーザーのユーザープリンシパル名 (UPN) が登録されます。

#### インストール済みライセンスと同時実行ユーザーライセンス

インストール済みのライセンス、または、同時実行ユーザーライセンスが LicenseServer を使用して割り当てられる場合、ライセンスは LicenseServer により特定のクライアントマシンに対して発行されて

いるものとして記録されます。LicenseServer はクライアントの IP アドレスの DNS サーバールックアップにより LicenseServer が取得するホスト名によりクライアントマシンを識別します。ルックアップからホスト名が取得されない場合、クライアントの IP アドレスが識別子として使用されます。以降、Altova 製品がクライアントマシン上で起動されると、LicenseServer は受信されるクライアント IP アドレスがライセンスが発行されたクライアントのホスト名または、IP アドレスに一致するかを確認します。一致する場合、ライセンスの詳細が検証されます。

**メモ:** インストール済みのライセンスと同時実行ユーザーライセンスの場合、LicenseServer はマシンのアドレスのホスト名または、IP アドレスを使用して割り当て済みのライセンスのカウントをキープします。識別はホスト名を用いて最初に行われます。これで作動しない場合、IP アドレスが使用されます。使用中のネットワーク環境内で、IP アドレスが動的に生成されている場合 (または、何らかの理由で固定されていない場合) 新規の IP アドレスが新規のログイン時に同じマシンのために作成されます。これにより、インストール済みのライセンス、または、同時実行ユーザーライセンスがすぐに最高数に達する場合があります。(マシン ID ではなく UPN ベースに割り当てが行われるため、このような環境では、[名前が付けられているユーザーライセンス](#)を使用してください。Altova デスクトップ製品を仮想マシン、仮想デスクトップ、リモートデスクトップにインストールする場合、この点を留意してください。

**メモ:** インストール済みのライセンス、または、同時実行ユーザーライセンスは製品マシンにログオンし、製品を作動する最初のユーザーのためにのみ作動します。これは、製品がそのマシンにのみライセンス許与を行っており、そのマシン上で一人のユーザーのみが製品を一度に作動できるためです。複数のユーザーによる製品のインストールの使用を有効化するには、名前が付けられたユーザーライセンスを持つ製品のライセンス供与を複数の名前を持つユーザーに設定してください。

#### 名前が付けられているユーザーライセンス

名前が付けられているユーザーライセンスが LicenseServer を使用して作成されている場合、LicenseServer によりライセンスは、特定の UPN に対して発行されているものとして記録されます。以降、Altova 製品がクライアントマシンで起動される都度、LicenseServer はユーザーがログイン済みの UPN をベースにクライアントユーザーを識別します。UPN がライセンス済みのクライアントユーザーの UPN に一致する場合、ライセンスの詳細は検証されます。

### VPN が動的な IP アドレスと接続する方法

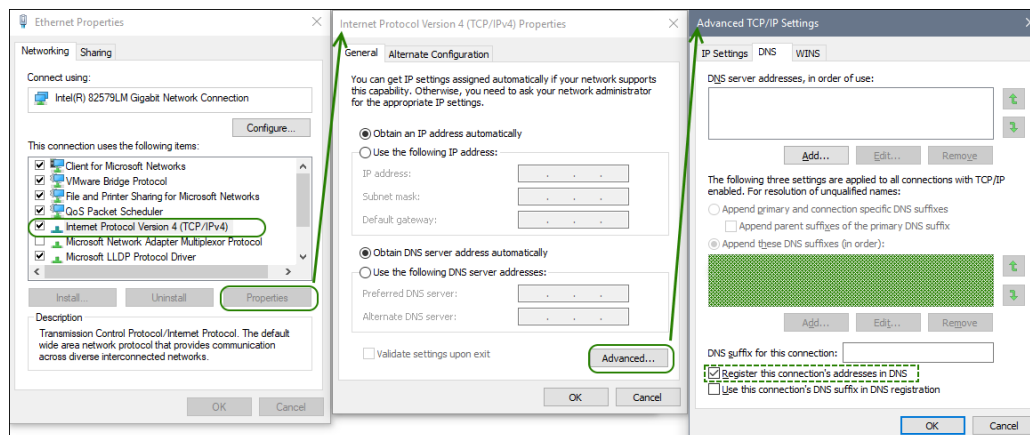
クライアントマシンが仮想プライベートネットワーク (VPN) サービスを介して LicenseServer に接続すると、接続は多くの場合、割り当てられた IP アドレスを使用して作成されます。この場合、クライアントによる新規の接続は、LicenseServer により受信される新規の IP アドレスとして記録され、このため、既知のクライアントとして認識されます (上記の「LicenseServer」がクライアントマシンを識別する方法を参照してください)。

この操作により以下の結果が発生します:

- クライアントの接続時、LicenseServer 上に追加ライセンスが存在する場合、新規のライセンスが(既に1つまたは複数のライセンスが既に割り当て済みの)クライアントに割り当てられます。クライアントに以前割り当てられているライセンスは割り当てが解除されます。この結果、単一のクライアントが複数のライセンスを消費し、サーバー上のライセンスの不足を招く可能性が発生します。
- LicenseServer に追加ライセンスが存在しない場合、そのクライアントに対して以前ライセンスが割り当てられていたにもかかわらず、(クライアントにより使用されていない IP アドレスにより)そのクライアント上の製品にライセンスを供与することはできません。

解決するには3つの方法があります:

- 名前が付けられているユーザーライセンスを使用する: 名前が付けられているユーザーライセンスの場合、ライセンスはクライアントマシンのホスト名またはアドレスに頼らず、ライセンス済みのユーザーのユーザープリンシパル名 (UPN) に頼ります ([Altova Licenses の種類](#)を参照してください)。動的な IP アドレスを使用するネットワークセットアップ内で作業することを選択する場合このライセンスモデルの使用が奨励されます。
- VPN クライアントを DNS を使用して登録する。操作方法は OS により異なります。Windows 10 クライアント上では、例えば、クライアントネットワーク接続のプロパティによりセットアップを行うことができます (下のスクリーンショット参照)。



- VPN ユーザーに静的な IP アドレスを割り当てる。操作方法は、VPN ソフトウェアにより異なります。VPN プロバイダーまたは管理者から関連する情報を取得することができます。例えば、OpenVPN とこの操作を行う方法は [ここ](#)で説明されています。

## 1.4 中央サーバー上の Altova 製品

Altova デスクトップ製品が以下の状態の場合取るステップについて説明しています: (i) 中央サーバー上でホストされている (ii) リモートクライアントにライセンス供与している。Altova デスクトップ製品を仮想マシン、または、遠隔のデスクトップにインストールするし、正確な LicenseServer に製品を登録する場合、これらのガイドラインに従ってください。

1. デスクトップ製品をインストールする前に、LicenseServer をインストールする。
2. LicenseServer のライセンスプールに関連する製品のライセンスをアップロードします(または、ライセンスを次の登録でアップロードすることができます (次のポイント)。)
3. デスクトップ製品のためのインストールプロシージャの終わりに、LicenseServer に製品を登録するかどうか問われます。「はい」を選択し、使用することのできる LicenseServers のリストから、製品ライセンスを使用することのできる (または将来使用できるようになる) LicenseServer を選択します。
4. 登録に成功すると、`%ProgramData%\Altova\ にある製品の LICSVR ファイルを読み取り専用にしてください。これは LICSVR ファイル内に保管されている正確な LicenseServer の情報が誤って上書きされないようにするためです。`
5. これ以降、リモートのクライアントがサーバーベースの製品ソフトウェアを開始すると、クライア

ントは正確な LicenseServer からライセンスを取得、または、ライセンスを割り当てられることができます。

- メモ:** インストール済みの製品の登録を後に回すと、ネットワーククライアントがサーバーベースの製品を開始し、不適格な LicenseServer に製品を登録する可能性があります。このような状態を回避するために、インストール後すぐにデスクトップ製品をすぐに登録することが奨励されます。
- メモ:** 製品の最初の登録が間違った LicenseServer に行われた場合、サーバーベースの製品ソフトウェアを開始する次のクライアントのためのライセンスは(間違った) LicenseServer で使用できるようになります。製品のためのライセンスがその LicenseServer で使用できる場合でも、このライセンス供与は意図とされたものではありません。この間、正確な LicenseServer 上のライセンスは意図とされた割り当てのために使用されません。
- メモ:** インストール済みのライセンス、または、同時実行ユーザーライセンスは製品マシンにログオンし、製品を作動する最初のユーザーのためにのみ作動します。これは、製品がそのマシンにのみライセンス許与を行っており、そのマシン上で一人のユーザーのみが製品を一度に作動できるためです。複数のユーザーによる製品のインストールの使用を有効化するには、名前が付けられたユーザーライセンスを持つ製品のライセンス供与を複数の名前を持つユーザーに設定してください。

以下も参照してください: [Altova ライセンスの種類](#) と [ネットワーク情報](#)。

## 1.5 Altova.com との通信

Altova LicenseServer は、ライセンスに関連したデータを検証と認証し、Altova ライセンス使用許諾契約書への継続的な遵守を確認するため、altova.com のマスター Licensing Server と通信する必要があります。この通信は HTTPS を介して、ポート 443 を使用して行われます。altova.com のマスター Licensing Server との最初の検証の後、Altova LicenseServer が altova.com と 5 日間 (= 120 時間)、再接続できない場合、Altova LicenseServer は Altova LicenseServer に接続して Altova ソフトウェア製品を使用することを許可しません。メモ: LicenseServer は altova.com にあるマスター LicenseServer に 24 時間ごとに接続します。

Altova マスターサーバーへの接続損失は [Altova LicenseServer の構成ページのメッセージ \(Messages\) タブ](#) にログされます。更に、管理者は、altova.com への接続が失われた場合、自動的に警告の電子メールを送信するように Altova LicenseServer を構成することができます。電子メールの設定の変更は、[構成ページ](#) の [設定 タブ](#) で行うことができます。

## 1.6 Altova ServiceController (Windows のみ)

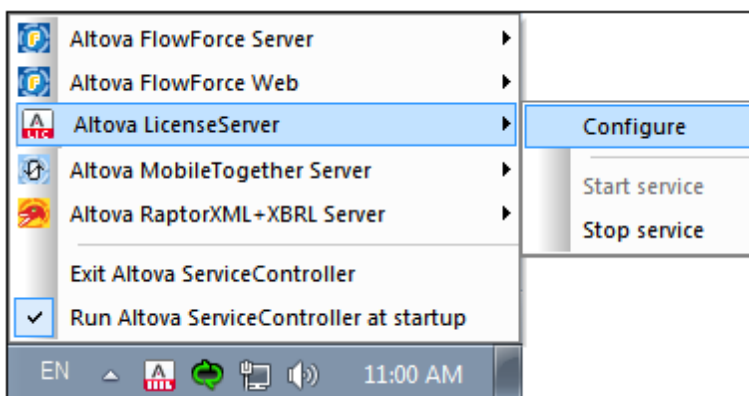
Altova ServiceController (略して ServiceController) は **Windows システム上** で Altova サービスを便利に開始、停止、構成できるアプリケーションです。

ServiceController は Altova LicenseServer とおよび [サービスとしてインストールされる Altova サーバー製品](#) (FlowForce Server, RaptorXML(+XBRL) Server, and Mobile Together Server) と共にインストールされます。 [スタート | Altova LicenseServer | Altova ServiceController](#) をクリックして開始され

ます。(このコマンドはAltova サーバー製品がサービスとしてインストールされている (FlowForce Server, RaptorXML(+XBRL) Server, and Mobile Together Server) スタートメニューフォルダーでも利用可能です。) ServiceController が開始した後、システムトレイからアクセスすることができます。(下部スクリーンショット)。



システムログイン時に ServiceController の自動開始を指定するには、システムトレイの **ServiceController** アイコンをクリックして **ServiceController** メニューを表示します (下部スクリーンショット)。 **スタートアップ時に Altova ServiceController を作動する(Run Altova ServiceController at Startup)** コマンドに切り替えます。(このコマンドはデフォルトで切り替えられています。) ServiceController を終了するには、システムトレイの **ServiceController** アイコンをクリックして、表示されるメニューから **Altova ServiceController の終了 (Exit Altova ServiceController)** をクリックします (下部スクリーンショット参照)。



### サービスの開始と停止

(例えば、Altova RaptorXML Server サービス) インストールされた Altova サービスコンポーネントは ServiceController メニューでエントリとして表示されます (上部スクリーンショット参照)。 Altova サービスは ServiceController のサブメニューのコマンドを介して開始または停止することができます。更に、ServiceController メニューを介して、個別サービスの管理タスクにアクセスすることができます。上部のスクリーンショットでは、例えば、Altova LicenseServer サービスにはサブメニューがあり「**構成**」(Configure) コマンドを介して LicenseServer の構成ページにアクセスすることを選択できます。

## 1.7 フェールオーバー LicenseServer

2番目の LicenseServer はプライマリ LicenseServer が使用できなくなった際にプライマリ LicenseServer を引き継ぐように構成することができます。この2番目の LicenseServer は **フェールオーバー LicenseServer** と呼ばれます。フェールオーバー LicenseServer の作動メカニズムは以下の通りです:

- LicenseServer アプリケーションは通常フェールオーバー LicenseServer となる予定のマシンに

- インストールされています。
- この LicenseServer はネットワーク上で作動するプライマリ LicenseServer のフェールオーバー LicenseServer として構成されます。構成はフェールオーバー LicenseServer の [設定](#) タブで構成を行うことができます。

フェールオーバー LicenseServer が構成されると、プライマリ LicenseServer とフェールオーバー LicenseServer はこの効果に関する情報をそれぞれヘッダーバーに表示します。

### フェールオーバー LicenseServer のしくみ

フェールオーバー LicenseServer は以下のように作動します:

- フェールオーバー LicenseServer が更新されると、全てのライセンス、登録済みのクライアント、およびライセンスの使用許諾書をプライマリから定期的に同期します。
- プライマリが使用できない場合、フェールオーバーが LicenseServer の役割を引き受けます。
- プライマリがまた使用できるようになると、フェールオーバーからコントロールを取り戻します。この期間中フェールオーバー上でライセンスに関連した変更は、プライマリがコントロールを取り戻すと失われます。
- フェールオーバー LicenseServer はバージョン 2015 rel 3 または、以降、および Altova MobileTogether Server バージョン 1.5 または以降の Altova 製品にのみライセンスを提供します (プライマリ LicenseServer の [クライアントの監視](#) タブ内の情報から古いクライアントを識別することができます)。フェールオーバー LicenseServer 機能を使用する場合、必要とされる最低バージョンに Altova アプリケーションをアップグレードすることが必要です。

### フェールオーバー LicenseServer によりバックアップされている LicenseServer をアップデートする方法

[フェールオーバー LicenseServer](#) によりバックアップされた LicenseServer を新しいバージョンに更新する場合、次の順序で更新を行ってください:

- プライマリの LicenseServer を更新してください。更新中にフェールオーバー LicenseServer に切り替えられます。
- プライマリの更新が完了するまで待ちます。プライマリの更新が完了すると、プライマリにフェールオーバーから切り替えられ、フェールオーバーのサービスは停止されます。
- フェールオーバー LicenseServer を更新します。
- フェールオーバーの更新が完了すると、フェールオーバーのサービスを使用することはできません。

**メモ:** フェールオーバーを最初に更新しようとするとき、インストールは失敗し、インストールのロールバックが行われます。フォールバックに失敗すると、フェールオーバーはアンインストールされます。

## 1.8 ライセンスのチェックアウト

クライアントは **デスクトップ製品 ライセンス** をライセンスが製品マシン上に保管されるように、ライセンスをライセンスプールから 30 日間チェックアウトすることができます ([設定](#) タブのライセンスチェックアウト設定内で正確な日数は指定されています)。これにより、オフラインで作業することが可能になります。これはとても役に立ちます。Altova LicenseServer にアクセスできない環境 (例えば、旅行中に Altova 製品がインストールされたラップトップコンピューターで作業する場合) などが挙げられます。製品のユーザーインターフェイスのライセンス認証ダイアログのクライアント側で実際のライセンスのチェック

アウトは実行されます。クライアントがライセンスをチェックアウトする機能は ([設定](#) タブ内 の)サーバー側でチェックアウトが有効化されているかにより異なります。

ライセンスのチェックアウトは [デスクトップ製品](#) のみで使用することができます。チェックアウトされているライセンスは [インストール済みのユーザーライセンス](#) または [同時実行ユーザーライセンス](#) である場合、ライセンスはマシンにライセンス供与されており、マシンのすべてのユーザーが使用することができます。チェックアウトされているライセンスが [名前付けられているユーザーライセンス](#) の場合、名前付けられているユーザーの Windows アカウントにライセンスはチェックアウトされます。仮想マシンのためにライセンスのチェックアウトは作動しますが、(VDI 内の)仮想デスクトップのためには作動しません。

ライセンスはチェックアウトされていますが、LicenseServer は、ライセンスが使用中と表示し、ライセンスは他のマシンで使用することができません。ライセンスはチェックアウトの期間が終わると自動的にチェックインされた状態を戻します。または、チェックアウトされたライセンスはソフトウェアのライセンスの認証ダイアログのボタンを使用して「**チェックイン**」することができます。

製品マシンへライセンスプールからライセンスをチェックアウトするには、Altova デスクトップ製品のヘルプメニューに移動し、[ソフトウェアライセンス認証](#) を選択します。詳細に関しては Altova 製品のユーザーマニュアルを参照してください。

**メモ:** ライセンスのチェックアウトはサーバー製品に対しては使用できません。

## 1.9 LicenseServer の更新

Altova 製品の新しいリリースには、LicenseServer の新しいバージョン(対応するバージョン)がリリースされます。Altova 製品をアップデートすると、対応する LicenseServer バージョンに LicenseServer もアップデートされる必要があります。対応するバージョンより古い LicenseServer バージョンは Altova 製品にライセンスを割り当てることができません。しかしながら、LicenseServer バージョン下位互換性があります (これは、LicenseServer が Altova 製品のバージョンより古い場合でもライセンスを割り当てるために使用できることを意味します)。

LicenseServer を以下のように更新します:

- *Windows* システム: 新しいバージョンのインストーラー (実行可能ファイル) をダブルクリック、または、インストーラーをコマンドラインから呼び出します。インストーラーは、古いバージョン LicenseServer の古いバージョンをアンインストールし、新しいバージョンをインストールします。
- *Linux* および *macOS*: 古いバージョンを手動でアンインストールし、新しいバージョンのインストーラーファイルを開始します。

最初にインストールされている LicenseServer ([Windows](#)、[Linux](#)、[macOS](#) を参照)とインストールの手順は同じです。

\* LicenseServer 3.0 を使用して以下にライセンスを供与することができます (i) バージョン 2019 または以前の Altova ソフトウェア製品 (ii) Altova MobileTogether Server バージョン 5.1 または以前。メモ内でリストされるものより新しい Altova 製品 バージョンにライセンスを供与するには使用することができません。

### LicenseServer の更新についてのメモ

- Altova 製品の新しいバージョンをインストールする場合、および現在の LicenseServer バージョンが最新ではない場合、LicenseServer の古いバージョンをアンインストールし、最新のバージョンをインストールします。または、LicenseServer インストールを続行する前に、古いバージョンを検知し、自動的にアンインストールする LicenseServer インストーラーに任せることもできます。
- LicenseServer の古いバージョン内に保管されてる登録とライセンス情報は保存され、アンインストール時に LicenseServer マシンのデータベース上に保管され、新しいバージョンに自動的にインポートされます。これは両方の場合に行われます: (i) 手動のアンインストール、または、(ii) LicenseServer インストーラーによる自動的なアンインストール
- サーバー製品の特定のバージョンのために適切な LicenseServer のバージョン番号がそのサーバー製品のインストール中に表示されます。LicenseServer のこのバージョンをサーバー製品のインストールの一部としてインストールすることを選択できます。
- 現在インストールされている LicenseServer のバージョンは [LicenseServer 構成ページ](#) の下の部分に表示されています。

### フェールオーバー LicenseServer に関連した LicenseServer を更新する方法

[フェールオーバー LicenseServer](#) によりバックアップされた LicenseServer を新しいバージョンに更新する場合、次の順序で更新を行ってください:

1. プライマリの LicenseServer を更新してください。更新中にフェールオーバー LicenseServer に切り替えられます。
2. プライマリの更新が完了するまで待ちます。プライマリの更新が完了すると、プライマリにフェールオーバーから切り替えられ、フェールオーバーのサービスは停止されます。
3. フェールオーバー LicenseServer を更新します。
4. フェールオーバーの更新が完了すると、フェールオーバーのサービスを使用することはできません。

**メモ:** フェールオーバーを最初に更新しようとするとき、インストールは失敗し、インストールのロールバックが行われます。ロールバックに失敗すると、フェールオーバーはアンインストールされます。

## 1.10 パスワードのリセット

LicenseServer パスワードを忘れた場合、コマンドラインインターフェイスから `passwordreset` コマンドを使用してパスワードをデフォルトにリセットすることができます。

1. コマンドライン ウィンドウを開く
2. LicenseServer アプリケーションまたは実行可能ファイルがインストールされているディレクトリに変更する
3. 次のコマンドを入力する: `licenseserver passwordreset`  
これにより LicenseServer 管理者のパスワードを元のパスワードである `default` に設定します
4. 管理者にパスワード `default` を使用して、ログインすることができます。



## 2 LicenseServer のインストールと開始(Windows)

このセクションでは、Windows システム上の LicenseServer のための次のプロシージャについて説明されています:

- [インストール \(Windows\)](#)
- [LicenseServer をサービスとして開始する \(Windows\)](#)
- [LicenseServer の構成 ページを開く \(Windows\)](#)

このセクション内で説明されるとおりインストールとセットアップが完了すると、以下を行うことができます:  
: (i) [LicenseServer に製品 インストールを登録する](#)、(ii) [LicenseServer に製品 ライセンスをアップロードする](#)、および (iii) [登録済みの製品 インストールに製品 ライセンスを登録する](#)。

### 2.1 LicenseServer のインストール (Windows)

Altova LicenseServer は Windows システムに 2 通りの方法でインストールすることができます:

- 独立したインストール
- Altova サーバー製品の一部としてのインストール。(Altova サーバー製品: Altova FlowForce Server、Altova MapForce Server、Altova StyleVision Server、Altova RaptorXML(+XBRL) および Altova MobileTogether Server)。Altova サーバー製品をインストールする際、LicenseServer がシステムにインストールされていない場合、LicenseServer のインストールのオプションはインストールセットアップ中にデフォルトで選択されます。LicenseServer が既にインストールされている場合、インストールするオプションは解除されます。デフォルトのオプションは変更可能です。

LicenseServer を使用して、ライセンスを割り当てる方法に関する情報は、[ライセンスの割り当て方法](#) セクションを参照してください。

#### システムの必要条件

##### ▼ [Windows](#)

プラットフォーム更新済みの Windows 7 SP1、Windows 8、Windows 10

##### ▼ [Windows Server](#)

プラットフォーム更新済みの Windows Server 2008 R2 SP1 または以降

#### LicenseServer と Altova 製品間のバージョンの互換性

Altova サーバー製品の新しいバージョンは、サーバー製品のリリース時に最新のバージョンである LicenseServer のバージョンによりのみライセンスを受けることができます。ですが、Altova サーバー製品の古いバージョンは新しいバージョンの LicenseServer と作動することができます。

この結果、新しいバージョンの Altova サーバー製品をインストールする場合、現在の LicenseServer のバージョンが最新でない場合、この古い LicenseServer バージョンをアンインストールし、Altova Web サイトで利用可能な最新バージョンをインストールしてください。古いバージョンの LicenseServer の全ての登録およびライセンス情報は、アンインストール時にサーバーマシンのデータ

ベースに保存され、新しいバージョンに自動的にインポートされます。

古いバージョンをアンインストール LicenseServer の新しいバージョンをインストールする場合、新規のバージョンがインストールされる前に、LicenseServer により古いバージョンが自動的にアンインストールされます。

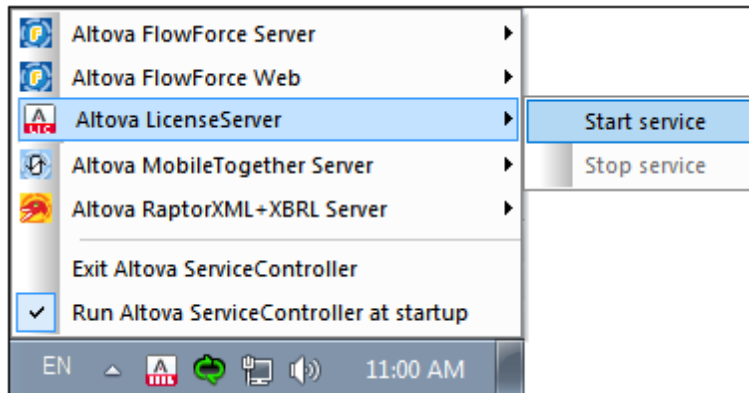
現在インストールされている LicenseServer のバージョンは、[LicenseServer 構成 ページ](#) (全てのタブ)の下部に表示されます。

参照: [LicenseServer の参照](#)

## 2.2 LicenseServer をサービスとして開始する (Windows)

システムトレイ内の Altova ServiceController を使用して LicenseServer をサービスとして開始します。以下を行ってください:

1. 「**Start | All Programs | Altova LicenseServer | Altova ServiceController**」をクリックして、Altova ServiceController を開始し、システムトレイ内にアイコンが表示されます (下のスクリーンショットを参照)。「Run Altova ServiceController」を「Startup」メニューコマンドで選択すると、Altova ServiceController はシステムの開始上で開始され、アイコンはシステムトレイ内で以降表示されるようになります。



2. LicenseServer をサービスとして開始するには、システムトレイ内で Altova ServiceController アイコンをクリックします。表示される「**Altova LicenseServer**」メニュー内のをクリックし、LicenseServer サブメニューから「**Start Service**」を選択します (上のスクリーンショット参照)。LicenseServer が既に作動している場合、「Start Service」オプションが無効化されません。

## 2.3 LicenseServer の構成ページの開きかた (Windows)

このセクション:

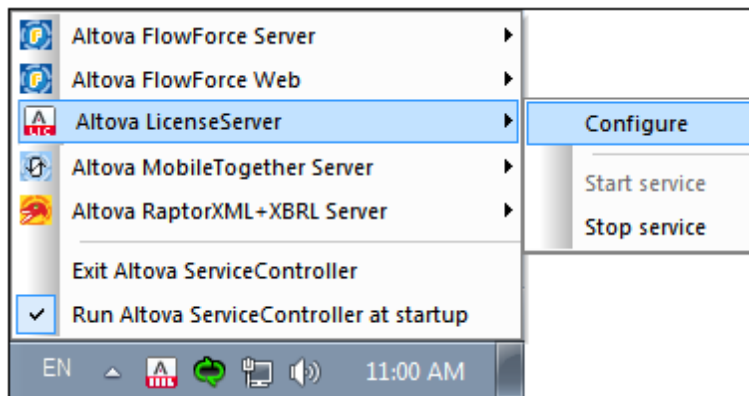
- [LicenseServer が同じコンピューターにある場合の構成ページの開きかた](#)
- [LicenseServer が他のコンピューターにある場合の構成ページの開きかた](#)

- [初回パスワードでのログイン](#)
- [構成ページの固定ポートの設定](#)

### LicenseServer が同じコンピュータにある場合の構成ページの開きかた

Windows システムで、LicenseServer が既にコンピュータにある場合、LicenseServer の[構成ページ](#)を2通りの方法で開くことができます:

- 「スタート | すべてのプログラム | Altova LicenseServer | LicenseServer 構成 ページ (Configuration page)」をクリックします。構成 ページはインターネットブラウザの新しいタブとして開かれます。
- システムトレイの Altova ServiceController アイコンをクリックします。ポップアップしたメニューの **Altova LicenseServer** (下のスクリーンショット参照) をポイントして「**構成**」(Configure) を LicenseServer サブメニューから選択します。



[構成ページ](#) は新しいブラウザウィンドウで開かれ、ログインマスクが表示されます(下のスクリーンショット)。

### LicenseServer が他のコンピュータにある場合の設定ページの開きかた

LicenseServer [構成ページ](#) をローカルネットワークの(LicenseServer がインストールされている)他の Windows マシンから開く場合、ブラウザのアドレスバーに LicenseServer [構成ページ](#) URL を入力して、「Enter」を押します。構成ページのデフォルトの URL 以下の通りです:

```
http://<serverIPAddressOrName>:8088/
```

構成ページ自身の HTML コードで示された `WebUI.html` という名前の URL は以下で見つけることができます:

```
C:/ProgramData/Altova/LicenseServer/WebUI.html
```

[構成ページの URL の設定](#) を動的に生成した場合、(構成ページの設定タブで)、LicenseServer を開始する都度、新しい URL が生成されます。 `WebUI.html` の現在のバージョンをチェックして、[構成ページ](#)の現在の URL を確認してください。

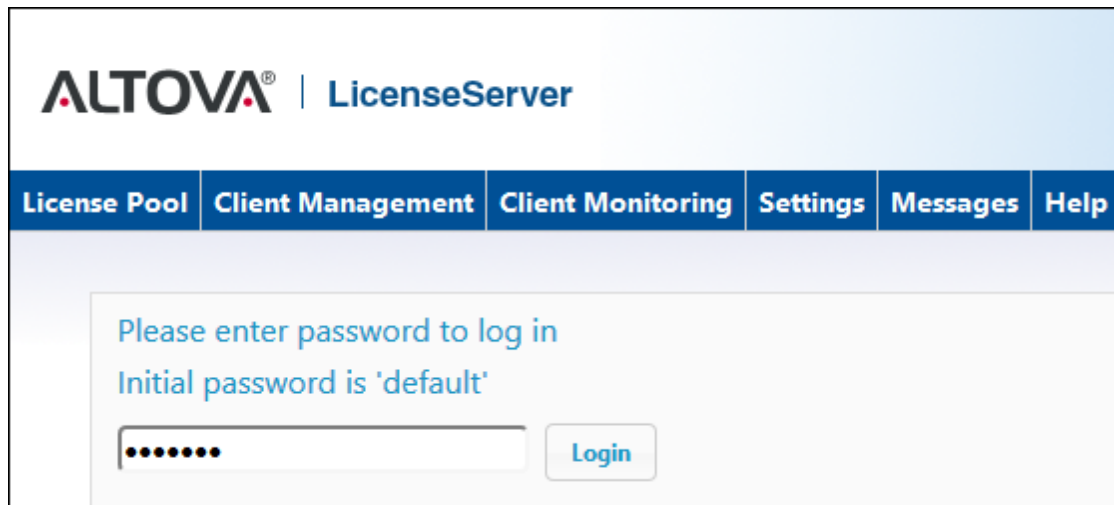
`WebUI.html` 内で動的に生成された URL は以下のようなフォームで表示されます:

```
http://127.0.0.1:55541/optionally-an-additional-string、 <head> 要素の終わり近くの  
スクリプト内の関数 checkIfServiceRunning() にあります。URL 内のポート番号のみが動的に割り  
当てられますが、IP アドレスは部分的に LicenseServer がインストールされたサーバーを識別しま
```

す。LicenseServer [構成ページ](#) を他のマシンからアクセスする場合、URL の IP アドレスが LicenseServer がインストールされているサーバーの正確な IP アドレスまたは名前であることを確認してください。例えば、URL は以下ようになります: `http://SomeServer:55541`。

### 初回パスワードでのログイン

上記のステップを踏んだ後、[構成ページ](#) のログインスクリーンが表示されます(下のスクリーンショット)。初回パスワード default でログインすることができます。ログインした後、[設定\(Settings\)](#) タブでパスワードを変更することができます。



### 構成ページの固定または動的ポートの設定

構成ページ (Web UI) のポート? と結果的にアドレス? は [設定 \(Settings\) ページ](#) にて指定することができます。デフォルトのポートは 8088 です。LicenseServer [構成ページ](#) (下のスクリーンショット参照) の他のポートを設定することもできます。また、LicenseServer が開始されるたびにポートを動的に選択することも許可されています。この場合、構成ページの URL をファイル `webUI.html` から検索する必要があります。( [LicenseServer 構成ページ \(Windows\) を開く](#)、[LicenseServer 構成ページを開く \(Linux\)](#) と [LicenseServer 構成ページを開く \(macOS\)](#) )。

Web UI

Changing these settings will cause the LicenseServer to restart and any currently running and licensed applications will be shut down!

Configure the host addresses where the web UI is available to administrators.

All interfaces and assigned IP addresses

Only the following hostname or IP address:

Ensure this hostname or IP address exists or LicenseServer will fail to start!

Configure the port used for the web UI.

Dynamically chosen by the operating system

Fixed port

Ensure this port is available or LicenseServer will fail to start!

固定ポートの利点は、ページ URL が事前に把握することができ、そのため、簡単にアクセスすることができます。ポートが動的に割り当てられる場合、URL のポートの部分は LicenseServer が開始される都度、ファイル `WebUI.html` から検索される必要があります。

### 3 LicenseServer のインストールと開始 (Linux)

このセクションでは、Windows システム上の LicenseServer のための次のプロシージャについて説明されています:

- [インストール \(Linux\)](#)
- [LicenseServer をサービスとして開始する \(Linux\)](#)
- [LicenseServer の構成ページを開く \(Linux\)](#)

このセクション内で説明されるとおりインストールとセットアップが完了すると、以下を行うことができます: (i) [LicenseServer に製品 インストールを登録する](#)、(ii) [LicenseServer に製品 ライセンスをアップロードする](#)、および (iii) [登録済みの製品 インストールに製品 ライセンスを登録する](#)。

#### 3.1 LicenseServer のインストール (Linux)

Altova LicenseServer は Linux システム (Debian、Ubuntu、CentOS、RedHat) にインストールすることができます。

##### システムの必要条件

###### ▼ Linux

- CentOS 6 または以降
- RedHat 6 または以降
- Debian 8 または以降
- Ubuntu 14.04 または以降

次のライブラリはアプリケーションをインストールし実行するために必要とされるライブラリです。下のパッケージが使用中 Linux のマシンで使用できない場合、yum (または、適用できる場合、apt-get を) コマンドを実行してインストールしてください。

サーバー	CentOS, RedHat	Debian	Ubuntu
LicenseServer	krb5-libs	libgssapi-krb5-2	libgssapi-krb5-2

**メモ:** Altova チャート機能を使用する場合、チャートが正確に表示されるように少なくともフォントの一つがシステム上にインストールされている必要があります。インストールされているフォントをリストするには、例えば [Fontconfig ライブラリ](#) の `fc-list` コマンドを使用してください。

**メモ:** 新規にインストールされた Ubuntu server 18.04.1 LTS 上では、**universe** レポジトリが (以下のコマンドを使用して: `sudo add-apt-repository universe`) 適用される必要があることがわかりました。libqtgui4 のインストールがこのアップグレードの後に必要です。

##### 古いバージョン LicenseServer のアンインストール

Linux コマンドラインインターフェイス (CLI) で以下のコマンドを使用して LicenseServer がインストールされているか確認することができます:

```
[Debian, Ubuntu]: dpkg --list | grep Altova
[CentOS, RedHat]: rpm -qa | grep server
```

LicenseServer がインストールされていない場合、以下のステップでインストールしてください。  
LicenseServer がインストールされていて、新しいバージョンをインストールしたい場合、以下のコマンドを使用して古いバージョンをアンインストールしてください:

```
[Debian, Ubuntu]: sudo dpkg --remove licenseserver
[CentOS, RedHat]: sudo rpm -e licenseserver
```

## Altova LicenseServer のインストール

Linux システムでは、LicenseServer は他の Altova サーバー製品と別途にインストールされる必要があり、Altova サーバー製品のインストールパッケージには含まれていません。[Altova Web サイト](#) から Altova LicenseServer をダウンロードして、直接 Linux システムのディレクトリにパッケージをコピーします。

ディストリビューション	インストーラー 拡張子
Debian	.deb
Ubuntu	.deb
CentOS	.rpm
RedHat	.rpm

ターミナルウィンドウで、Linux パッケージをコピーしたディレクトリに切り替えます。例えば (/home/User ディレクトリに存在する)、MyAltova という名のユーザーディレクトリにコピーした場合、以下のように切り替えます:

```
cd /home/User/MyAltova
```

以下のコマンドを使用して LicenseServer をインストールします:

```
[Debian]: sudo dpkg --install licenseserver-3.0-debian.deb
[Ubuntu]: sudo dpkg --install licenseserver-3.0-ubuntu.deb
[CentOS]: sudo rpm -ivh licenseserver-3.0-1.x86_64.rpm
[RedHat]: sudo rpm -ivh licenseserver-3.0-1.x86_64.rpm
```

- LicenseServer パッケージは以下にインストールされます: /opt/Altova/LicenseServer/bin
- LicenseServer を作動するために必要な権利を有する `altovalicenseserver` という名前のユーザーが作成されます。When LicenseServer がデーモンとして (または、サービスとして) 作動している場合、このユーザーとして開始されます。(また、(i) このユーザーが LicenseServer にアクセスすることができる特権を持つ新規のユーザーが作成されます。また、(ii) (最大限の特権を有する) LicenseServer をルートユーザーとして開始します。上記のステップは以下の理由のため必須ではなく、奨励されません。(i) 不利な点が存在しません。(ii) `altovalicenseserver` ユーザーには、LicenseServer を作動するために必要とされる全ての権利を有しており、これは個別の専用のユーザーのためです)。

**メモ:** LicenseServer を `altovalicenser` としてインタラクティブなモードで作動することもできます。CentOS 7 での例としては、以下のとおりデバッグを行うことができます: `sudo runuser -l altovalicenser -c '/opt/Altova/LicenseServer/bin/licenseserver debug'`。インタラクティブなモードの不利な点は、ターミナルセッションが閉じられると LicenseServer が作動を中止することです。

### LicenseServer を作動する際のバックグラウンド情報

以下の点について注意してください:

- LicenseServer をデーモン (または、サービス) として作動することが奨励されます。インタラクティブなモードで LicenseServer を作動すると、ターミナルでのセッションが閉じられると作動が停止することに注意してください。
- LicenseServer をデーモンとして作動する場合、LicenseServer を `initctl` または `systemctl` コマンドを使用して管理することが最善策です。これらのコマンドは、ルートユーザーの特権を持つ場合のみ実行することができます。このため、非ルートユーザーとして作動している場合、ルートユーザー特権 (`sudo initctl...` と `sudo systemctl...`) を一時的に取得するために `sudo` コマンドを使用してください。
- LicenseServer がデーモンとして開始されると (i) インストール時に LicenseServer インストーラーにより作成され、(ii) LicenseServer を作動するためのすべての権利を有する `altovalicenser` をユーザーとして自動的に作動します。詳細に関しては、[LicenseServer の開始](#) を参照してください。

ライセンスの割り当ての方法に関する情報は、[ライセンスの割り当て方法](#) のセクションを参照してください。

### LicenseServer と Altova 製品間のバージョンの互換性

Altova サーバー製品の新しいバージョンは、サーバー製品のリリース時に最新のバージョンである LicenseServer のバージョンによりのみライセンスを受けることができます。ですが、Altova サーバー製品の古いバージョンは新しいバージョンの LicenseServer と作動することができます。

この結果、新しいバージョンの Altova サーバー製品をインストールする場合、現在の LicenseServer のバージョンが最新でない場合、この古い LicenseServer バージョンをアンインストールし、Altova Web サイトで利用可能な最新バージョンをインストールしてください。古いバージョンの LicenseServer の全ての登録およびライセンス情報は、アンインストール時にサーバーマシンのデータベースに保存され、新しいバージョンに自動的にインポートされます。

古いバージョンをアンインストール LicenseServer の新しいバージョンをインストールする場合、新規のバージョンがインストールされる前に、LicenseServer により古いバージョンが自動的にアンインストールされます。

現在インストールされている LicenseServer のバージョンは、[LicenseServer 構成ページ](#) (全てのタブ) の下部に表示されます。

参照: [LicenseServer の参照](#)



## 3.2 LicenseServer をサービスとして開始する (Linux)

Linux システムで LicenseServer をサービスとして開始するには、次のコマンドをターミナルウィンドウ内で実行します。

```
[Debian >=8]:      sudo systemctl start licenseserver
[Ubuntu 14.04]:   sudo initctl start licenseserver
[Ubuntu >=15]:   sudo systemctl start licenseserver
[CentOS 6]:       sudo initctl start licenseserver
[CentOS >=7]:    sudo systemctl start licenseserver
[RedHat]:         sudo initctl start licenseserver
```

(LicenseServer を停止する場合、上のコマンド内で `start` を `stop` と置き換えます。)

## 3.3 LicenseServer の構成ページの開きかた (Linux)

このセクション:

- [返された URL で構成ページを初めて開く](#)
- [LicenseServer 構成ページの URL](#)
- [初回パスワードでのログイン](#)
- [ページ構成ページの固定ポートの設定](#)

### 返された URL で構成ページを初めて開く

Linux システムでは、CLI を介して LicenseServer に Altova サーバー製品を登録した場合、LicenseServer の構成ページの URL が返されます。ブラウザでこの URL を開く際、ライセンス使用許諾契約書を読んで合意するようにプロンプトされます。ライセンス使用許諾契約書に合意した後、構成ページのログインマスクが表示されます(下のスクリーンショット)。

**メモ:** Altova デスクトップ製品は、Windows のみで使用することができます。Altova サーバー製品は Windows、Linux、macOS のために使用することができます。

### LicenseServer 構成ページの URL

LicenseServer [構成ページ](#) 開くには、アドレスバーに URL を入力して、「Enter」を押します。構成ページのデフォルトの URL は以下の通りです:

デフォルトでは、構成ページの URL は以下のとおりになります:

```
http://<serverIPAddressOrName>:8088/
```

構成ページ自身の HTML コードで示された `webUI.html` という名前の URL は以下で見つけることができます:

C:/ProgramData/Altova/LicenseServer/WebUI.html

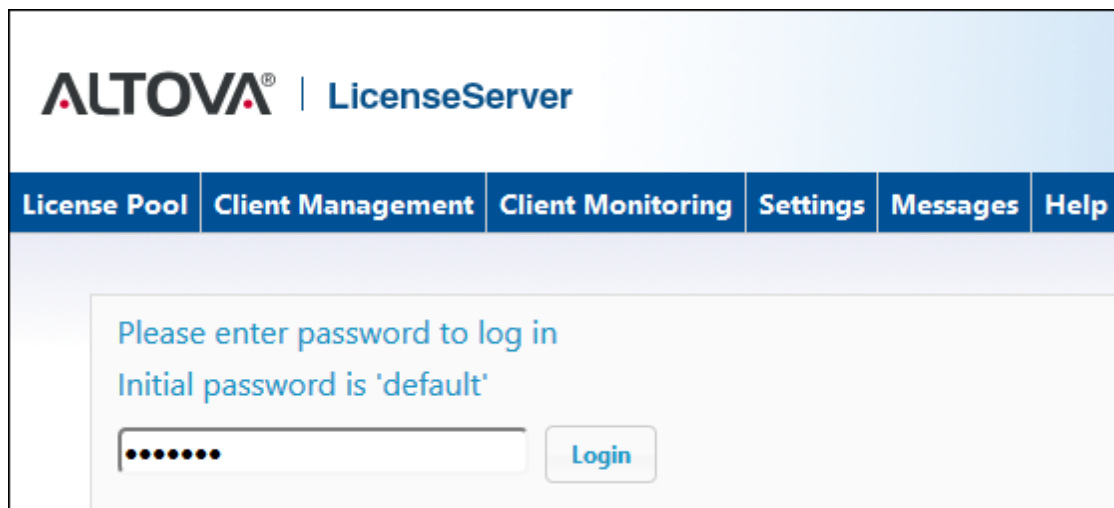
[構成ページの URL の設定](#) を動的に生成した場合、(構成ページの設定タブで)、LicenseServer を開始する都度、新しい URL が生成されます。WebUI.html の現在のバージョンをチェックして、[構成ページ](#)の現在の URL を確認してください。

WebUI.html 内で動的に生成された URL は以下のようなフォームで表示されます:

http://127.0.0.1:55541/optionally-an-additional-string。 <head> 要素の終わり近くのスクリプト内の関数 `checkIfServiceRunning()` にあります。URL 内のポート番号のみが動的に割り当てられますが、IP アドレスは部分的に LicenseServer がインストールされたサーバーを識別します。LicenseServer [構成ページ](#) を他のマシンからアクセスする場合、URL の IP アドレスが LicenseServer がインストールされているサーバーの正確な IP アドレスまたは名前であることを確認してください。例えば、URL は以下ようになります: http://SomeServer:55541.

### 初回パスワードでのログイン

上記のステップを踏んだ後、[構成ページ](#) のログインスクリーンが表示されます(下のスクリーンショット)。初回パスワード default でログインすることができます。ログインした後、[設定 \(Settings\)](#) タブでパスワードを変更することができます。



### 構成ページの固定または動的ポートの設定

構成ページ (Web UI) のポート? と結果的にアドレス? は [設定 \(Settings\) ページ](#) にて指定することができます。デフォルトのポートは 8088 です。LicenseServer [構成ページ](#) (下のスクリーンショット参照) の他のポートを設定することもできます。また、LicenseServer が開始されるたびにポートを動的に選択することも許可されています。この場合、構成ページの URL をファイル WebUI.html から検索する必要があります。( [LicenseServer 構成ページ \(Windows\) を開く](#)、 [LicenseServer 構成ページを開く \(Linux\)](#) と [LicenseServer 構成ページを開く \(macOS\)](#) )。

Web UI

Changing these settings will cause the LicenseServer to restart and any currently running and licensed applications will be shut down!

Configure the host addresses where the web UI is available to administrators.

All interfaces and assigned IP addresses

Only the following hostname or IP address:

Ensure this hostname or IP address exists or LicenseServer will fail to start!

Configure the port used for the web UI.

Dynamically chosen by the operating system

Fixed port

Ensure this port is available or LicenseServer will fail to start!

固定ポートの利点は、ページ URL が事前に把握することができ、そのため、簡単にアクセスすることができます。ポートが動的に割り当てられる場合、URL のポートの部分は LicenseServer が開始される都度、ファイル `WebUI.html` から検索される必要があります。

## 4 LicenseServer のインストールと開始 (macOS)

このセクションでは、macOS システム上の LicenseServer のための次のプロシージャについて説明されています:

- [インストール \(macOS\)](#)
- [LicenseServer をサービスとして開始する \(macOS\)](#)
- [LicenseServer の構成ページを開く \(macOS\)](#)

このセクション内で説明されるとおりインストールとセットアップが完了すると、以下を行うことができます:  
: (i) [LicenseServer に製品 インストールを登録する](#)、(ii) [LicenseServer に製品 ライセンスをアップロードする](#)、および (iii) [登録済みの製品 インストールに製品 ライセンスを登録する](#)。

### 4.1 LicenseServer のインストール (macOS)

Altova LicenseServer は macOS システムにインストールすることができます(下記のシステムの必要条件を参照してください)。前のバージョンがアンインストールする必要がある場合は、アンインストールを先に行ってください。

#### システムの必要条件

##### ▼ macOS

macOS 10.12、または以降

#### 古いバージョン LicenseServer をアンインストールする方法

LicenseServer をアンインストールする前に、以下のコマンドでサービスを停止します:

```
sudo launchctl unload /Library/LaunchDaemons/com.altova.LicenseServer.plist
```

サービスが停止されたか確認するには、アクティビティモニター ターミナルを開き、LicenseServer がリストにないことを確認します。

**アプリケーション**で、LicenseServer アイコンを右クリックし、「**ごみ箱へ移動**」を選択します。アプリケーションはごみ箱に移動されます。しかし、usr フォルダーからアプリケーションを削除しなければなりません。このためには以下のコマンドを使用します:

```
sudo rm -rf /usr/local/Altova/LicenseServer
```

#### Altova LicenseServer のインストール

Altova ダウンロードページ <http://www.altova.com/ja/download.html> を開き、Mac のためのサーバーソフトウェア製品の中から Altova LicenseServer を検索します。イメージ (.dmg) ファイルをダウンロード後、クリックして開きます。これにより、新しい仮想ドライブがコンピューターにマウントされます。仮想ド

ライブで、パッケージ (.pkg) ファイルをダブルクリックして、画面上の指示に従います。手続きを続行するには、使用許可承諾書に同意する必要があります。

LicenseServer パッケージは以下のフォルダーにインストールされます:

```
/usr/local/Altova/LicenseServer
```

`altovalicensesserver` という名前のユーザーが作成されます。LicenseServer はこのユーザーによりアクセスされる必要があります。

インストール後仮想ドライブを取り出すには、右クリックして、「**取り出し**」を選択します。

#### LicenseServer を作動する際のバックグラウンド情報

以下の点について注意してください:

- LicenseServer をデーモン (または、サービス) として作動することが奨励されます。インタラクティブなモードで LicenseServer を作動すると、ターミナルでのセッションが閉じられると作動が停止することに注意してください。
- LicenseServer をデーモンとして作動する場合、LicenseServer を `launchctl` コマンドを使用して管理することが最善策です。このコマンドは、ルートユーザーの特権を持つ場合のみ実行することができます。このため、非ルートユーザーとして作動している場合、ルートユーザー特権 (`sudo launchctl...`) を一時的に取得するために `sudo` コマンドを使用してください。
- LicenseServer がデーモンとして開始されると (i) インストール時に LicenseServer インストーラーにより作成され、(ii) LicenseServer を作動するためのすべての権利を有する `altovalicensesserver` をユーザーとして自動的に作動します。詳細に関しては、[LicenseServer の開始](#) を参照してください。

インストール後に仮想ドライブから退出するには、右クリックし、「**Eject**」を選択します。

#### LicenseServer と Altova 製品間のバージョンの互換性

Altova サーバー製品の新しいバージョンは、サーバー製品のリリース時に最新のバージョンである LicenseServer のバージョンによりのみライセンスを受けることができます。ですが、Altova サーバー製品の古いバージョンは新しいバージョンの LicenseServer と作動することができます。

この結果、新しいバージョンの Altova サーバー製品をインストールする場合、現在の LicenseServer のバージョンが最新でない場合、この古い LicenseServer バージョンをアンインストールし、Altova Web サイトで利用可能な最新バージョンをインストールしてください。古いバージョンの LicenseServer の全ての登録およびライセンス情報は、アンインストール時にサーバーマシンのデータベースに保存され、新しいバージョンに自動的にインポートされます。

古いバージョンをアンインストール LicenseServer の新しいバージョンをインストールする場合、新規のバージョンがインストールされる前に、LicenseServer により古いバージョンが自動的にアンインストールされます。

現在インストールされている LicenseServer のバージョンは、[LicenseServer 構成ページ](#) (全てのタブ) の下部に表示されます。

参照: [LicenseServer の参照](#)

## 4.2 LicenseServer をサービスとして開始する (macOS)

macOS システム上で LicenseServer をサービスとして開始する場合、次のコマンドをターミナルウィンドウ内で実行してください:

```
sudo launchctl load /Library/LaunchDaemons/com.altova.LicenseServer.plist
```

LicenseServer を停止する必要がある場合、以下を使用してください:

```
sudo launchctl unload /Library/LaunchDaemons/com.altova.LicenseServer.plist
```

## 4.3 LicenseServer の構成ページの開きかた (macOS)

このセクション:

- [返された URL で構成ページを初回開く](#)
- [LicenseServer 構成ページの URL](#)
- [初回パスワードでのログイン](#)
- [構成ページの固定ポートの設定](#)

### 返されたURL で構成ページを初回開く

macOS システムでは、CLI を介して LicenseServer に Altova サーバー製品を登録した場合、LicenseServer の構成ページの URL が返されます。ブラウザでこの URL を開く際、ライセンス使用許諾契約書を読んで合意するようにプロンプトされます。ライセンス使用許諾契約書に合意した後、構成ページのログインマスクが表示されます(下のスクリーンショット)。

**メモ:** Altova デスクトップ製品は、Windows のみで使用することができます。Altova サーバー製品は Windows、Linux、macOS のために使用することができます。

### LicenseServer 構成ページのURL

LicenseServer [構成ページ](#) 開くには、アドレスバーに URL を入力して、「Enter」を押します。構成ページのデフォルトの URL は以下の通りです:

デフォルトでは、構成ページの URL は以下のとおりになります:

```
http://<serverIPAddressOrName>:8088/
```

構成ページ自身の HTML コードで示された `webUI.html` という名前の URL は以下で見つけることができます:

C:/ProgramData/Altova/LicenseServer/WebUI.html

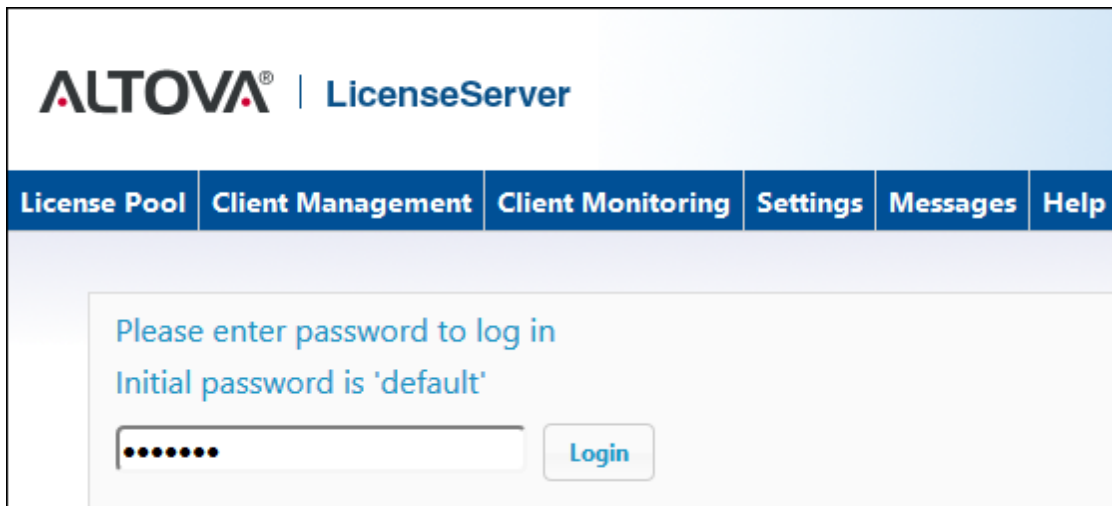
[構成ページの URL の設定](#) を動的に生成した場合、(構成ページの設定タブで)、LicenseServer を開始する都度、新しい URL が生成されます。WebUI.html の現在のバージョンをチェックして、[構成ページ](#)の現在の URL を確認してください。

WebUI.html 内で動的に生成された URL は以下のようなフォームで表示されます:

http://127.0.0.1:55541/optionally-an-additional-string。 <head> 要素の終わり近くのスクリプト内の関数 `checkIfServiceRunning()` にあります。URL 内のポート番号のみが動的に割り当てられますが、IP アドレスは部分的に LicenseServer がインストールされたサーバーを識別します。LicenseServer [構成ページ](#) を他のマシンからアクセスする場合、URL の IP アドレスが LicenseServer がインストールされているサーバーの正確な IP アドレスまたは名前であることを確認してください。例えば、URL は以下ようになります: http://SomeServer:55541.

### 初回パスワードでのログイン

上記のステップを踏んだ後、[構成ページ](#) のログインスクリーンが表示されます(下のスクリーンショット)。初回パスワード default でログインすることができます。ログインした後、[設定\(Settings\)](#) タブでパスワードを変更することができます。



### 構成ページの固定または動的ポートの設定

構成ページ (Web UI) のポート? と結果的にアドレス? は [設定 \(Settings\) ページ](#) にて指定することができます。デフォルトのポートは 8088 です。LicenseServer [構成ページ](#) (下のスクリーンショット参照) の他のポートを設定することもできます。また、LicenseServer が開始されるたびにポートを動的に選択することも許可されています。この場合、構成ページの URL をファイル WebUI.html から検索する必要があります。( [LicenseServer 構成ページ \(Windows\) を開く](#)、 [LicenseServer 構成ページを開く \(Linux\)](#) と [LicenseServer 構成ページを開く \(macOS\)](#) )。

Web UI

Changing these settings will cause the LicenseServer to restart and any currently running and licensed applications will be shut down!

Configure the host addresses where the web UI is available to administrators.

All interfaces and assigned IP addresses

Only the following hostname or IP address:

Ensure this hostname or IP address exists or LicenseServer will fail to start!

Configure the port used for the web UI.

Dynamically chosen by the operating system

Fixed port

Ensure this port is available or LicenseServer will fail to start!

固定ポートの利点は、ページ URL が事前に把握することができ、そのため、簡単にアクセスすることができます。ポートが動的に割り当てられる場合、URL のポートの部分は LicenseServer が開始される都度、ファイル `WebUI.html` から検索される必要があります。



## 5 製品の登録と登録の解除

Altova サーバー製品に[ライセンスの割り当て](#)る前に、LicenseServer に製品を登録しなければなりません。Altova 製品から登録を行い、製品の種類に従い手順は異なります。

- **デスクトップ製品**: ソフトウェアのライセンス認証ダイアログを使用して、登録が行われます。
- **Web UI を持つサーバー製品**: FlowForce Server と MobileTogether Server の登録は、Web UI の **セットアップ** タブまたは製品の CLI により行うことができます。
- **Web UI を持たないサーバー製品**: DiffDog Server、MapForceServer、RaptorXML(+XBRL) Server、と StyleVisionServer の登録は、これらの製品の CLI を使用して行います。LicenseServer がインストールされているマシンのサーバー名または IP アドレスが登録のために必要になります。

**メモ:** LicenseServer に製品を登録すると、製品のみが登録されるだけでなく、製品が登録されているマシン、および、ソフトウェアを登録したユーザーのユーザープリンシパル名 (UPN) も登録されます。関連した情報に関しては、[Altova ライセンスの種類](#) を参照してください。

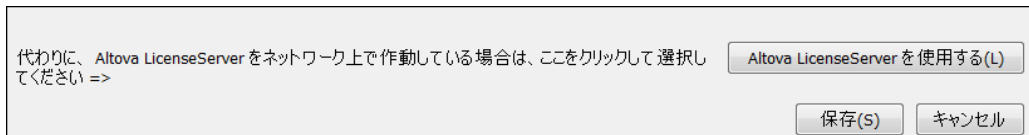
異なる Altova サーバー製品の登録方法を説明します:

- [Altova デスクトップ製品の登録](#)
- [DiffDog Server の登録](#)
- [FlowForce Server の登録](#)
- [MapForce Server の登録](#)
- [MobileTogether Server の登録](#)
- [RaptorXML\(+XBRL\) Server の登録](#)
- [StyleVision Server の登録](#)

### 5.1 Altova デスクトップ製品の登録

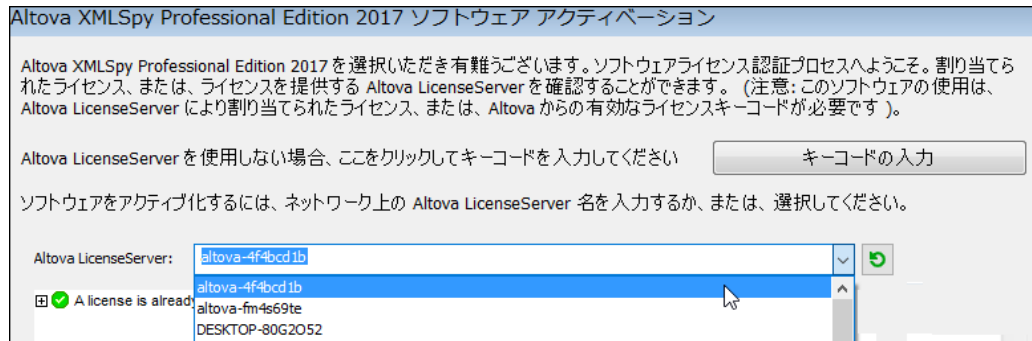
Altova LicenseServer に Altova デスクトップ製品を登録するには、以下を行います:

1. メニューコマンド「ヘルプ | ソフトウェアのライセンスの認証」を選択して、製品のソフトウェアライセンス認証ダイアログに移動します。ライセンスの承認は、(i) Altova LicenseServer を使用して、または、(ii) キーコードの詳細を入力しておこなうことができます。このドキュメントでは、Altova LicenseServer を使用した場合のライセンスの認証について説明します。
2. LicenseServer を使用して製品のライセンスの認証をおこなうには、(ダイアログの下にある)「**Altova LicenseServer を使用する**」をクリックします(下のスクリーンショットを参照してください)。



3. これによりダイアログが LicenseServer のライセンス認証モードに切り替えられます(下のスクリーンショット参照)。Altova LicenseServer コンボボックスのドロップダウンリストから、LicenseServer を選択します。ライセンスサーバーの自動検知は、LAN 上で送信される通信を使用して作動します。これらの通信はサブセットに制限されており、自動検知が作動するには、ライセンスサーバーはクライアントマシンと同じサブセット上に存在する必要があります。

ます。自動検知が作動しない場合、サーバーの名前を入力します。



選択された LicenseServer への接続が構築されると、製品はすぐに選択された LicenseServer に登録されます。LicenseServer の [クライアント管理タブ](#)、内で使用中の製品リストに製品が表示されます。

### デスクトップ製品の登録解除

デスクトップ製品の登録を解除するには、LicenseServer の [クライアント管理タブ](#) に移動し、製品のライセンスペイン内の右側にある製品の「**製品の登録解除**」ボタンをクリックします。

## 5.2 DiffDog Server の登録

DiffDog Server サーバーは [ライセンスが割り当てられる前](#)にの前に Altova LicenseServer に登録する必要があります。登録の方法は以下の通りです。

### DiffDog Server の登録 (Windows)

DiffDog Server をコマンドラインインターフェイス CLI を介し licenseserver コマンドを使用して登録することができます:

```
DiffDogServer licenseserver Server-Or-IP-Address
```

例えば、LicenseServer が `http://localhost:8088` で作動する場合、DiffDog Server を以下で登録してください:

```
DiffDogServer licenseserver localhost
```

DiffDog Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動し、[DiffDog Server にライセンスを割り当てます](#)。

### DiffDog Server の登録 (Linux)

Linux マシンでは、DiffDog Server を DiffDog Server CLI の licenseserver コマンドを使用して LicenseServer に登録することができます。DiffDog Server はルートの権限と共に開始されなければなりませんことに注意してください。

```
sudo /opt/Altova/DiffDogServer2019/bin/diffdogserver licenseserver localhost
```

上記のコマンド内では、localhost は、LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。サーバーの IP アドレスを代わりに使用することもできます。DiffDog Server 実行可能ファイルの場所に注意してください:

```
/opt/Altova/DiffDogServer2019/bin
```

DiffDog Server の登録に成功すると LicenseServer に移動し、[DiffDog Server にライセンスを割り当てます](#)。

### DiffDog Server の登録 (macOS)

macOS マシンでは、DiffDog Server を DiffDog Server CLI の licenseserver コマンドを使用して LicenseServer に登録することができます。DiffDog Server はルートの権限と共に開始されなければならないことに注意してください。

```
sudo /usr/local/Altova/DiffDogServer2019/diffdogserver licenseserver localhost
```

上記のコマンド内では、localhost は、LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。サーバーの IP アドレスを代わりに使用することもできます。

DiffDog Server の登録に成功すると LicenseServer に移動し、[DiffDog Server にライセンスを割り当てます](#)。

## 5.3 FlowForce Server の登録

このセクション:

- [LicenseServer に FlowForce Server を登録する方法](#)
- [FlowForce Server セットアップページへのアクセス \(Windows\)](#)
- [FlowForce Server セットアップページへのアクセス \(Linux\)](#)
- [セットアップページを介しての FlowForce Server の登録](#)
- [FlowForce CLI を介しての FlowForce Server の登録 \(Windows\)](#)
- [FlowForce CLI を介しての FlowForce Server の登録 \(Linux\)](#)

### LicenseServer に FlowForce Server を登録する方法

FlowForce Server の LicenseServer への登録は以下の方法が使用できます:

- [FlowForce Server セットアップページを介して](#)
- [FlowForce CLI を介して\(Windows\)](#)
- [FlowForce CLI を介して\(Linux\)](#)

### FlowForce Server セットアップページへのアクセス(Windows)

FlowForce Server セットアップページへは以下の方法でアクセスできます:

- **スタートメニュー**から:  
スタート | *Altova FlowForce Server 2019* | *FlowForce Server セットアップ ページ*
- [Altova ServiceController](#)から: システムトレイの ServiceController アイコンをクリックします。  
ポップアップしたメニューから *Altova FlowForce Web | Setup* を選択します。

FlowForce Server セットアップページ(上部 スクリーンショット) がポップアップします。

### FlowForce Server セットアップページへのアクセス(Linux)

Linux に FlowForce Server をインストールした後、(手順に関しては FlowForce Server ユーザードキュメンテーションを参照してください)。以下のコマンドを使用して FlowForce Web Server をサービスとして開始します:

```
sudo /etc/init.d/flowforcewebserver start
```

FlowForce Server の URL を含んだメッセージがターミナルウィンドウに表示されます:

```
FlowForceWeb running on http://127.0.1.1:3459/setup?key=52239315203
```

アドレスフィールドに URL を入力して、FlowForce Server セットアップページにアクセスするために「Enter」を押します。(下のスクリーンショット)。

### セットアップページを介してのFlowForce Server の登録

セットアップページ(下のスクリーンショット)へのアクセス方法は上記されています? LicenseServer フィールドは Altova LicenseServer を登録するために指定されています。

ALTOVA®  
FlowForce®  
SERVER 2014

Home Help

## Setup

### LicenseServer

Enter address here or search for LicenseServer

### FlowForce Web Server

Bind address: All interfaces (0.0.0.0) ▼ 127.0.0.1 Port: 8082

Default time zone: Europe/Berlin ▼

### FlowForce Server

Bind address: All interfaces (0.0.0.0) ▼ 127.0.0.1 Port: 4646

LicenseServer 以下の 2 つの方法で指定できます。

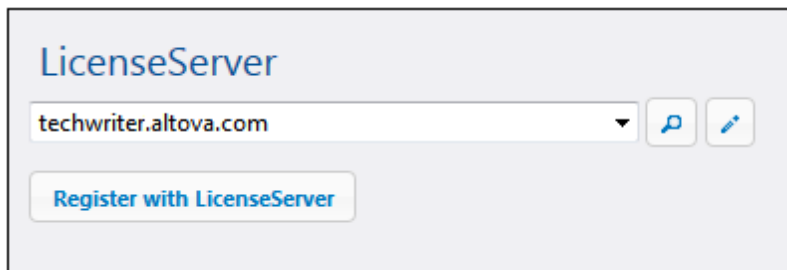
- 現在ネットワークで使用可能な、つまり現在作動している、Altova LicenseServers を検索することができます。この手順は、「**Altova LicenseServers 検索**」(Search for Altova LicenseServers) ボタンをクリックすることで実行できます (下のスクリーンショットで黄色にハイライトされています)。

### LicenseServer

Enter address here or search for LicenseServer

検索によりネットワーク上で使用可能な Altova LicenseServers のリストが返されます。1 つの LicenseServer が選択され、(下のスクリーンショット) 他はコンボボックスのドロップダウンリストで使用可能です。FlowForce ライセンスが保管されている LicenseServer を選択しま

す。



- または、LicenseServer のアドレスを LicenseServer のフィールドに入力します。現在作動するがドロップダウンリストで使用可能な場合、**「手動でアドレスを入力」(Manually Enter Address)** ボタンをクリックして、LicenseServer フィールドにアドレスを入力することができます。

LicenseServer を指定した後、**「LicenseServer により登録」(Register with LicenseServer)** をクリックします。指定された LicenseServer により、サーバーアプリケーションが登録され LicenseServer の [構成ページ](#) の [クライアント管理 タブ](#) がブラウザで開かれます(下のスクリーンショット)。

**メモ:** LicenseServer 構成ページを表示するためにポップアップを許可しなければならないかもしれません。

上部のスクリーンショットでは、3つの製品が `DOC.altova.com` の Altova LicenseServer に登録されています。ライセンスの割り当て方法に関しては、次のセクション [登録された製品へのライセンスの割り当て](#) で説明されています。

### FlowForce CLI を介しての FlowForce Server の登録 (Windows)

Windows マシンでは、FlowForce Server は `licenseserver` コマンドを使用し、コマンドライン(CLI)を介してネットワーク上の Altova LicenseServer に登録することができます:

```
FlowForceServer licenseserver Server-Or-IP-Address
```

例えば、LicenseServer が `http://localhost:8088` で作動している場合、FlowForce Server を以下で登録します:

```
FlowForceServer licenseserver localhost
```

FlowForce Server が他のサーバー製品のサブパッケージとしてインストールされている場合、

FlowForce Server の登録は自動的に Altova サーバー製品も登録します。FlowForce Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動して、FlowForce Server にライセンスを割り当てます。手順は[登録された製品へのライセンスの割り当て](#)のセクションに説明されています。

### FlowForce CLI を介してのFlowForce Server の登録 (Linux)

Linux マシンでは、FlowForce Server は FlowForce Server CLI の `licenseserver` コマンドを使用して LicenseServer に登録することができます。FlowForce Server はルート権限とともに開始されなければならないことに注意してください。

```
sudo /opt/Altova/FlowForceServer2019/bin/flowforceserver licenseserver localhost
```

上記コマンドでは、`localhost` は、LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。サーバーの IP アドレスを代わりに使用することもできます。FlowForce Server 実行可能ファイルの場所は以下の通りです:

```
/opt/Altova/MapForceServer2019/bin
```

FlowForce Server の登録が成功すると、LicenseServer に移動して、FlowForce Server にライセンスを割り当てます。手順は[登録された製品へのライセンスの割り当て](#)のセクションに説明されています。

## 5.4 MapForce Server の登録

このセクション:

- [FlowForce Server からの MapForce Server の登録 \(Windows\)](#)
- [スタンドアロンの MapForce Server の登録 \(Windows\)](#)
- [MapForce Server の登録 \(Linux\)](#)

MapForce Server は FlowForce Server の一部として、またスタンドアロンのサーバー製品としてインストールすることができます。どちらの場合でも、Altova LicenseServer に登録されなければなりません。LicenseServer に登録された後のみ、LicenseServer から[ライセンスが割り当てられます](#)。Windows システムでは、MapForce Server が FlowForce Server の一部としてインストールされる場合、FlowForce が登録される際自動的に登録されます。Linux システムでは、MapForce Server が FlowForce Server の後にインストールされる場合、FlowForce Server が登録される際に自動的に登録されます。MapForce Server が FlowForce Server の前にインストールされると、両方の製品を個別に登録する必要があります。

### FlowForce Server からのMapForce Server の登録 (Windows)

MapForce Server は FlowForce Server にパッケージされており、FlowForce Server がネットワークの Altova LicenseServer に登録されている場合、MapForce Server は自動的に LicenseServer に登録されます。FlowForce Server の登録方法は、のドキュメンテーションの[LicenseServer](#) に



[FlowForce Server を登録する](#)セクションに説明されています。

登録の後、LicenseServer に移動して MapForce Server ライセンスを MapForce Server に割り当てます。手順は [登録された製品にライセンスを割り当てる](#)セクションに説明されています。

### スタンドアロンのMapForce Server の登録 (Windows)

MapForce Server をスタンドアロン パッケージとしてインストールした場合、ネットワークの Altova LicenseServer に登録し、Altova LicenseServer からライセンスを与える必要があります。MapForce Server を コマンドラインインターフェイス(CLI) 介して `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます:

```
MapForceServer licenseserver Server-Or-IP-Address
```

例えば、LicenseServer が以下で作動している場合、`http://localhost:8088`、MapForce Server を以下で登録します:

```
MapForceServer licenseserver localhost
```

MapForce Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動して、MapForce Server にライセンスを割り当てます。手順はセクション [登録された製品にライセンスを割り当てる](#) に説明されています。

### MapForce Server の登録 (Linux)

Linux マシンでは、MapForce Server を LicenseServer に MapForce Server CLI の `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます。MapForce Server はルート権限 とともに開始 されなければならないことに注意してください。

```
sudo /opt/Altova/MapForceServer2019/bin/mapforceserver licenseserver localhost
```

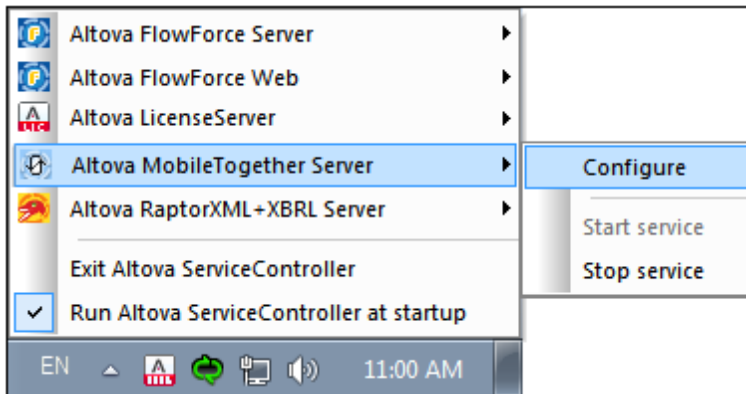
上記 コマンドでは、`localhost` は、LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。サーバーの IP アドレスを代わりに使用することもできます。MapForce Server 実行可能 ファイルの場所は以下の通りです:

```
/opt/Altova/MapForceServer2019/bin
```

MapForce Server の登録が成功すると、LicenseServer に移動して、MapForce Server にライセンスを割り当てます。手順は [登録された製品へのライセンスの割り当て](#)のセクションに説明されています。

## 5.5 MobileTogether Server の登録

MobileTogether Server を開始するには、システムトレイの「ServiceController」アイコンをクリックします。ポップアップしたメニュー **Altova MobileTogether Server** をポイントし、(下のスクリーンショット参照)、MobileTogether Server サブメニューから「サービスの開始」(Start Service) を選択します。MobileTogether Server が既に作動している場合、サービスの開始 (Start Service) オプションは無効化されます。



MobileTogether Server の登録:

- MobileTogether Server Web UI の設定タブ: (i) ServiceController を介して、MobileTogether を開始する(前述のポイント参照)。 (ii) 構成ページにアクセスするためにパスワードを入力する。 (iii) 設定タブを選択する。 (iv) ページ下の LicenseServer ペインに移動する。 LicenseServer 名またはアドレスを入力し、「LicenseServer により登録」(Register with LicenseServer)をクリックする。
- CLI の licenseserver コマンドを使用する:  
**MobileTogetherServer licenseserver [options] ServerName-Or-IP-Address**  
 例えば、LicenseServer がインストールされているサーバー名 localhost の場合:  
**MobileTogetherServer licenseserver localhost**

### MobileTogether Server の登録(Linux)

Linux マシンでは、MobileTogether Server を LicenseServer に MapForce Server CLI の licenseserver コマンドを使用して登録することができます。MobileTogether Server はルート権限とともに開始されなければならないことに注意してください。

```
sudo /opt/Altova/MobileTogetherServer5.1/bin/mobiletogetherserver
licenseserver localhost
```

上記コマンドでは、localhost は、LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。サーバーの IP アドレスを代わりに使用することもできます。MapForce Server 実行可能ファイルの場所は以下の通りです:

MobileTogether Server の登録が成功すると、LicenseServer に移動して、[MobileTogether Server にライセンスを割り当てます](#)。

## MobileTogether Server の登録(macOS)

macOS マシンでは、MobileTogether Server は LicenseServer を MobileTogether Server CLI の `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます。MobileTogether Server はルートの権限と共に開始されなければならないことに注意してください。

```
sudo /usr/local/Altova/MobileTogetherServer5.1/mobiletogetherserver
licenseserver localhost
```

上記コマンドでは、`localhost` は、LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。サーバーの IP アドレスを代わりに使用することもできます。

MobileTogether Server の登録が成功すると、LicenseServer に移動して、[MobileTogether Server にライセンスを割り当てます](#)。

## 5.6 RaptorXML(+XBRL) Server の登録

RaptorXML(+XBRL) Server サーバーは[ライセンスが割り当てられる前に](#)の前に Altova LicenseServer に登録される必要があります。登録の方法は以下の通りです。

### RaptorXML(+XBRL) Server の登録 (Windows)

RaptorXML(+XBRL) Server をコマンドラインインターフェイス CLI を介し `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます:

```
RaptorXML Server:   RaptorXML licenseserver Server-Or-IP-Address
RaptorXML+XBRL     RaptorXMLXBRL licenseserver Server-Or-IP-Address
Server:
```

例えば、LicenseServer が以下で作動している場合 `http://localhost:8088`、RaptorXML(+XBRL) Server を以下で登録します:

```
RaptorXML Server:   RaptorXML licenseserver localhost
RaptorXML+XBRL     RaptorXMLXBRL licenseserver localhost
Server:
```

RaptorXML(+XBRL) Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動して、LicenseServer に移動して、[登録された製品にライセンスを割り当てます](#)。

### RaptorXML(+XBRL) Server の登録 (Linux)

Linux マシンでは、RaptorXML(+XBRL) Server を LicenseServer に RaptorXML(+XBRL) Server CLI の `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます。RaptorXML(+XBRL) Server はルー

ト権限とともに開始されなければならないことに注意してください。

```
sudo /opt/Altova/RaptorXMLServer2019/bin/raptorxmlserver licenseserver
localhost
sudo /opt/Altova/RaptorXMLXBRLServer2019/bin/raptorxmlxbrlserver licenseserver
localhost
```

上記コマンドでは、localhost は、LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。サーバーの IP アドレスを代わりに使用することもできます。RaptorXML(+XBRL) Server 実行可能ファイルの場所は以下の通りです:

```
/opt/Altova/RaptorXMLServer2019/bin
/opt/Altova/RaptorXMLXBRLServer2019/bin
```

RaptorXML(+XBRL) Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動して、LicenseServer に移動して、[登録された製品にライセンスを割り当てます](#)。

### RaptorXML(+XBRL) Server の登録 (macOS)

Linux マシンでは、RaptorXML(+XBRL) Server を RaptorXML(+XBRL) Server CLI の licenseserver コマンドを使用して登録することができます。RaptorXML(+XBRL) Server はルートの権限と共に開始されなければならないことに注意してください。

```
sudo /usr/local/Altova/RaptorXMLServer2019/raptorxmlserver licenseserver
localhost
sudo /usr/local/Altova/RaptorXMLXBRLServer2019/raptorxmlxbrlserver
licenseserver localhost
```

上記のコマンド内では、localhost は、LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。サーバーの IP アドレスを代わりに使用することもできます。

RaptorXML(+XBRL) Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動して、LicenseServer に移動して、[登録された製品にライセンスを割り当てます](#)。

## 5.7 StyleVision Server の登録

StyleVision Server は FlowForce Server の一部として、またスタンドアロンのサーバー製品としてインストールすることができます。どちらの場合でも、Altova LicenseServer に登録されなければなりません。LicenseServer に登録された後のみ、LicenseServer から[ライセンスが割り当てられます](#)。Windows システムでは、StyleVision Server が FlowForce Server の一部としてインストールされる場合、FlowForce が登録される際自動的に登録されます。Linux システムでは、StyleVision Server が FlowForce Server の後にインストールされる場合のみ、FlowForce Server が登録される際に自動的に登録されます。

### FlowForce Server からの StyleVision Server の登録 (Windows)

StyleVision Server は FlowForce Server にパッケージされており、FlowForce Server がネットワークの

Altova LicenseServer に登録されている場合、StyleVision Server は自動的に LicenseServer に登録されます。FlowForce Server の登録方法は、ドキュメンテーションの [LicenseServer に FlowForce Server を登録する](#) セクションに説明されています。

StyleVision Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動して、LicenseServer に移動して、[登録された製品にライセンスを割り当てます](#)。

### スタンドアロンのStyleVision Server の登録 (Windows)

StyleVision Server をスタンドアロン パッケージとしてインストールした場合、ネットワークの Altova LicenseServer に登録し、Altova LicenseServer からライセンスを与える必要があります。StyleVision Server を コマンドラインインターフェイス(CLI) 介して `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます:

```
StyleVisionServer licenseserver Server-Or-IP-Address
```

例えば、LicenseServer が以下で作動している場合、`http://localhost:8088`、StyleVision Server を以下で登録します:

```
StyleVisionServer licenseserver localhost
```

StyleVision Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動して、LicenseServer に移動して、[登録された製品にライセンスを割り当てます](#)。

### StyleVision Server の登録 (Linux)

Linux マシンでは、StyleVision Server を LicenseServer に StyleVision Server CLI の `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます。StyleVision Server はルート権限とともに開始されなければならないことに注意してください。

```
sudo /opt/Altova/StyleVisionServer2019/bin/stylevisionserver licenseserver localhost
```

上記コマンドでは、`localhost` は、LicenseServer がインストールされているサーバーの名前です。サーバーの IP アドレスを代わりに使用することもできます。StyleVision Server 実行可能ファイルの場所は以下の通りです:

```
/opt/Altova/StyleVisionServer2019/bin
```

StyleVision Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動して、LicenseServer に移動して、[登録された製品にライセンスを割り当てます](#)。

### StyleVision Server の登録(macOS)

macOS マシンでは、StyleVision Server は LicenseServer を StyleVision Server CLI の `licenseserver` コマンドを使用して登録することができます。StyleVision Server はルートの権限と共に開始されなければならないことに注意してください。

```
sudo /usr/local/Altova/StyleVisionServer2019/stylevisionserver licenseserver
```

localhost

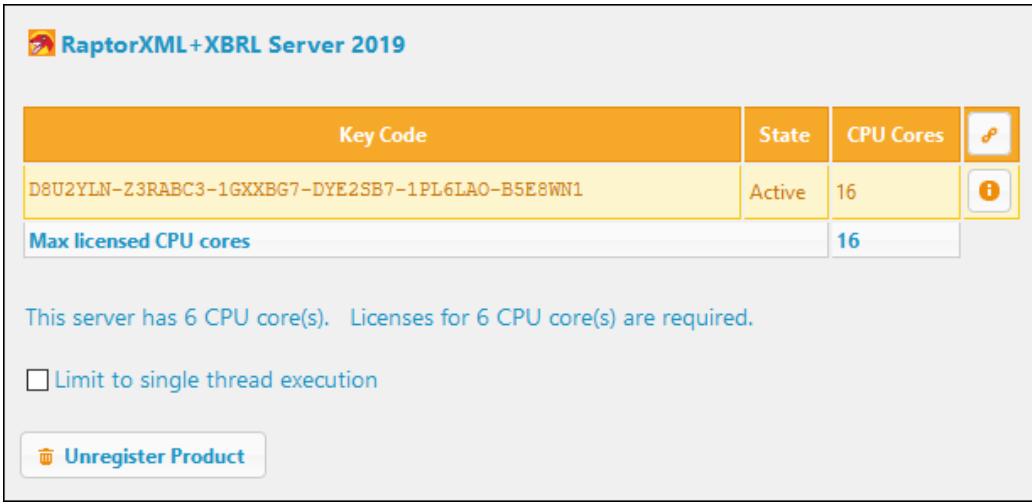
上記のコマンド内では、localhost は、LicenseServer がインストールされているサーバーの名前で、サーバーの IP アドレスを代わりに使用することもできます。


StyleVision Server の登録に成功すると、LicenseServer に移動し、[StyleVision Server にライセンスを割り当てます](#)。

## 5.8 製品の登録の解除

製品の登録を解除するには、以下を行います：

1. [クライアント管理](#) タブに移動します。
2. 登録済みのクライアントマシンと登録済みの製品をリストする左側のペインで、登録を解除する製品が存在するクライアントマシンを選択します。
3. 右側のペインで、登録を解除する製品の「製品の登録の解除」ボタンをクリックします (下のスクリーンショットを参照)。




Key Code	State	CPU Cores	
D8U2YLN-Z3RABC3-1GXXBG7-DYE2SB7-1PL6LAO-B5E8WN1	Active	16	

Max licensed CPU cores: 16

This server has 6 CPU core(s). Licenses for 6 CPU core(s) are required.

Limit to single thread execution

 Unregister Product

4. 表示される確認ダイアログ内で、「はい」(Yes)をクリックします。ライセンスが製品に割り当てられると、製品の登録が解除されると、割り当ては中断されます。

## 6 製品ライセンスのアップロードと認証

このセクションでは以下について説明されています:

- LicenseServer のライセンスプールに [ライセンスをアップロード](#) する方法。
- ライセンスプール内で [ライセンスを有効化、または、無効化](#) する方法。
- 異なる [ライセンスのステータス値](#) の意味。

### 6.1 ライセンスの LicenseServer へのアップロード

Altova からライセンスファイル (ファイル拡張子 `.altova_licenses`) の取得後、このファイルを Altova LicenseServer へこのファイルをアップロードするために適切な場所に保存します。購入に従い、各ライセンスファイルに一つ、または、複数のライセンスを含むことができます。ライセンスファイルをアップロードすると、全てのライセンスが LicenseServer のライセンスプールにアップロードされ、LicenseServer に登録されている Altova 製品に割り当てられることができます。1つまたは複数のライセンスファイルとすべての Altova 製品のためにアップロードされているライセンスは LicenseServer 上のライセンスプール内に集められます。LicenseServer 構成 ページのタブ内にライセンスプールは表示されています (下のスクリーンショット)。

Status	Name	Company	Product	Edition	Version	Key Code	Bundle ID	Start Date	End Date	Expires in days	SMP days left	#	License Type	Clients
<input type="checkbox"/>			All Products	All	All									
<input type="checkbox"/>	Active	Altova GmbH	DatabaseS	Enterprise Editi	2015 rel. 4	GWS36BI-	{D5FC74C}	2015-06	-	-	355	50	Installed Usel	0/50 users
<input type="checkbox"/>	Active	Altova Document, Altova GmbH	FlowForce Sen		2015 rel. 4	9FJUP0P-	-	2015-05	-	-	328	8	CPU Cores	1/50 machir
<input type="checkbox"/>	Active	Altova GmbH	MapForce	Enterprise Editi	2015 rel. 4	BCEB4BI-	{D5FC74C}	2015-06	-	-	355	50	Installed Usel	0/50 users
<input type="checkbox"/>	Active	Altova Document, Altova GmbH	MapForce Sen		2015 rel. 4	23A8TT1-	-	2015-05	-	-	328	8	CPU Cores	1/50 machir
<input checked="" type="checkbox"/>	Active	Altova Document, Altova GmbH	RaptorXML+X		2015 rel. 4	M2L0CMY-	-	2015-05	-	-	328	16	CPU Cores	running assigned
<input type="checkbox"/>	Active	Altova Document, Altova GmbH	RaptorXML Se		2015 rel. 4	847AXW4-	-	2015-05	-	-	328	16	CPU Cores	
<input type="checkbox"/>	Active	Altova GmbH	SchemaAg		2015 rel. 4	GWVBWBI-	{D5FC74C}	2015-06	-	-	355	50	Installed Usel	0/50 users

Activate Deactivate Delete

Upload License File  No files selected.

ライセンスファイルは、ライセンスプール (License Pool) タブのライセンスファイルのアップロード (Upload License File) 機能を使用して、LicenseServer にアップロードされます (上のスクリーンショット参照)。「参照」(Browse) ボタンをクリックして希望するライセンスファイルを選択します。(アップロードするライセンスファイルは Altova からのライセンス電子メール内に添付として受信済みの `.altova_licenses` ファイル拡張子を持つファイルを指します)。ライセンスファイルのアップロード (Upload License File) テキスト フィールドにライセンスファイルが表示され、「アップロード」(Upload) ボタンが有効化されます。「アップロード」(Upload) ボタンをクリックしてライセンスファイルをアップロードします。ファイルの全てのライセンスは、アップロードされライセンスプールタブに表示されます。下のスクリーンショットは、複数のライセンスファイルからアップロードされた複数のライセンスを表

示しています。

ステータスに関する詳細は、[ライセンスステータス](#)を参照してください。

## 6.2 ライセンスの認証

ライセンスを割り当てるには、ライセンスは **アクティブ** または **保留** の状態である必要があります。(保留中のライセンスには将来の開始日があり、その開始日にアクティブになります)。その開始日を過ぎてもライセンスがアクティブではない場合 (例えば、管理者により手動で無効化された場合など。詳細に関しては、[ライセンスの状態](#)を参照してください) 割り当てられる前に有効化される必要があります。

有効化されていないライセンスプールタブ内で有効化されます (下のスクリーンショット)。有効化されていないライセンスを選択して、(タブの下にある) **Activate (アクティブ化)** ボタンをクリックします。

License Pool	Client Management	Client Monitoring	Settings	Messages(254)	Log Out	Help
Licenses						
<input type="checkbox"/>	Status	Name	Company	Product		
				All Products		
<input type="checkbox"/>	Active		altova	FlowForce Server		
<input type="checkbox"/>	Active		altova	MapForce Server		
<input type="checkbox"/>	Active		altova	MapForce Server		
<input checked="" type="checkbox"/>	Active		altova	RaptorXML+XBRL Server		
<input type="checkbox"/>	Active		altova	RaptorXML Server		

### 関連した情報

- ライセンスのステータスに関する詳細は、[ライセンスのステータス](#)のセクションを参照してください。
- アクティブなライセンスを無効化するには、ライセンスを選択して、(タブの下にある) **無効化 (Deactivate)** をクリックします。
- アクティブではないライセンスを削除するには、ライセンスを選択して、(タブの下にある) **削除 (Delete)** をクリックします。
- ライセンスの有効化、無効化、削除に関する詳細は、[ライセンスプール](#)のセクションを参照してください。

## 6.3 ライセンスのステータス値

### ライセンスの状態

ライセンスの状態の値は以下の通りです:

- **アクティブ化**: ライセンスが、LicenseServer のライセンスプールにアップロードされると、サーバ



ーはライセンスに関連したデータを altova.com マスターライセンスサーバーに、検証、認証、与えられたライセンスをアクティブ化するために送信します。これは、Altova ライセンス使用許諾契約書への順守を確認するために必要です。通常 30 秒から数分かかる、初回アクティブ化と認証トランザクション中、インターネットの接続スピードとネットワークの交通量にもよりますが、ライセンスの状態は **アクティブ化 (Activating...)** と表示されます。

- **失敗した検証:** altova.com マスターライセンスサーバーへの接続が確立しなかった場合、プール内のライセンスの状態は **失敗した検証 (Failed Verification)** と表示されます。これは起こり得ることですので、インターネットの接続とファイアウォールのルールを確認して、LicenseServer が altova.com マスターライセンスサーバーと通信できるように確認してください。
- **アクティブ:** ライセンスが認証されてアクティブ化されると、状態は **アクティブ (Active)** に変更されます。
- **非アクティブ:** ライセンスは検証されたが、ネットワークの他の LicenseServer に存在する場合、状態は **非アクティブ (Inactive)** と表示されます。非アクティブ状態は、管理者がライセンスプール内でのライセンスを手動で非アクティブ化に設定した際におこります。
- **保留:** ライセンスの開始の日付が未来の日付である場合、ライセンスは **保留** として表示されます。00:00 時に有効化にステータスが変更されます。この状態は、製品に割り当てることができ、現在のライセンスの有効期限が切れた場合でも、製品に対するライセンスが、継続されることを保証します。新規のライセンスへの変更は、スムーズな変換であり、クライアントプロセスを実行する必要はありません。
- **ブロックされた:** ライセンスの認証に問題がある場合、ライセンスは **ブロックされた (Blocked)** と表示されます。また、altova.com マスターライセンスサービスがこのライセンスを使用する許可を与えていない場合も表示されます。これはライセンスの過剰使用、またはコンプライアンスの問題などのため、のライセンス使用許諾の違反になる可能性があります。問題を解決すると、ライセンスを削除、再アップロード、再度アクティブ化します。追加情報に関しては下記を参照してください。

これらの状態は以下のテーブルにまとめられています:

状態	意味
アクティブ化 Activating...	アップロードする際、ライセンスの情報は altova.com に検証のために送信されます。アップデートされた状態を確認するためにブラウザを更新してください。検証とアクティブ化は数分かかります。
失敗した検証 Failed Verification	altova.com への接続が確立しませんでした。接続を確立し、サーバーを再開するか、(「 <b>Activate</b> 」ボタンを使用して)ライセンスをアクティブ化します。
アクティブ Active	検証に成功し、ライセンスはアクティブ化されました。
非アクティブ Inactive	検証には成功しましたが、ライセンスがネットワークの他の LicenseServer に存在します。ライセンスは「 <b>Deactivate</b> 」ボタンにより非アクティブ化することができます。
保留中 Pending	保留中のライセンスには、開始と終了の日付が存在し、開始日にアクティブに切り替えられます。製品に割り当てることが出来、ライセンスの有効期限が切れる前に製品のライセンスの自動更新をおこなうことができます。

ブロックされた Blocked	検証が成功しませんでした。ライセンスは無効でブロックされています。 <a href="#">Altova サポート</a> に連絡してください。ライセンスをブロックしている問題が解決されると、ライセンスを削除、再ロード、またはライセンスをアクティブに設定することができます。ライセンスが更新される都度、新規の検証を開始する Altova マスターサーバーに通信します。再度アップロードを行わない場合、ライセンスの検証は、計画されている Altova マスターサーバーとの通信まで保留になり、同日に発生しない場合があります。
--------------------	--

**メモ:** ライセンスが altova.com に検証のため送信された後、アップデートされた状態を確認するためにブラウザを更新する必要があります。検証とアクティブ化は数分かかります。

**メモ:** altova.com への接続が確立しない場合、状態は失敗した検証 (Failed Verification) と表示されます。接続を確立した後、への接続が確立しませんでした。接続を確立し、サーバーを再開するか、(「Activate」ボタンを使用して)ライセンスをアクティブ化します。

**メモ:** ライセンス状態が非アクティブまたはブロックされたと表示されている場合、ステータスを説明したメッセージがメッセージログに追加されます。

製品のインストールにはアクティブな、または、保留されているライセンスのみを割り当てることができます。非アクティブなライセンスはアクティブ化されるか、またはライセンスプールから削除することができます。ライセンスがライセンスプールから削除された場合、ライセンスファイルを再度アップロードすることでアップロードできます。ライセンスファイルがアップデートされると、プールに存在しないライセンスのみがアップロードされます。ライセンスをアクティブ化、非アクティブ化、または削除するには、それぞれ、「Activate」、「Deactivate」または「Delete」ボタンをクリックしてください。

## 7 製品ライセンスを割り当てる方法

このセクションは登録されている製品に製品ライセンスを割り当てる方法について説明されており、ライセンスの割り当てに関する情報が提供されています:

- [登録された製品へのライセンスの割り当て](#)
- [ライセンスの割り当ての解除](#)
- [割り当て済みのライセンスの編集](#)

他の役に立つ情報:

- [Altova ライセンスの種類](#)
- [プロセッサコアとライセンス](#)

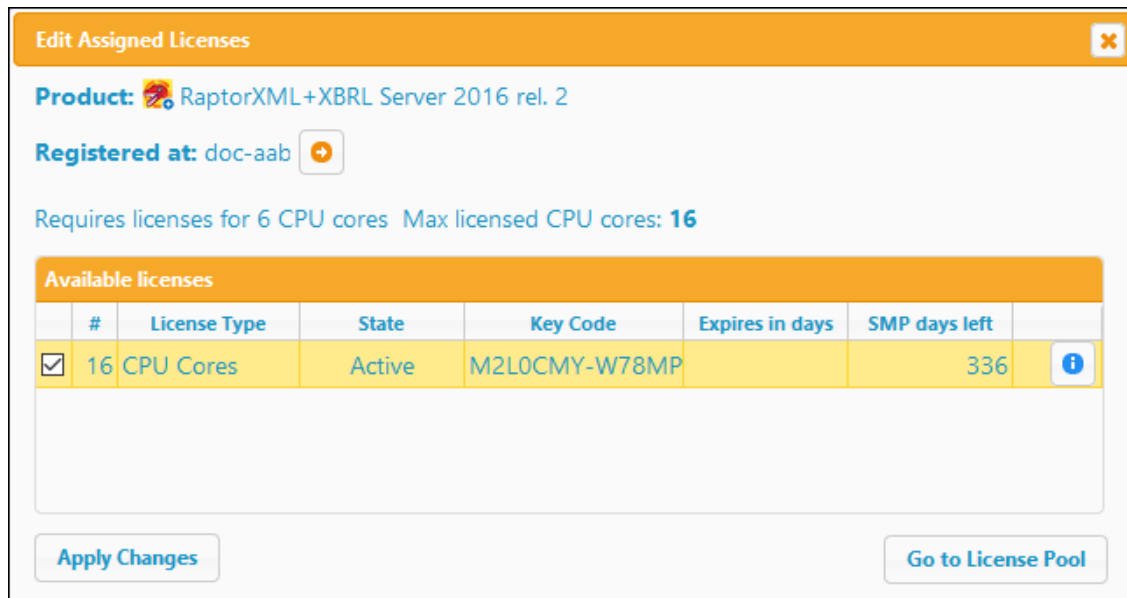
### 7.1 登録された製品へのライセンスの割り当て

(i) (LicenseServer と) ライセンスを供与する製品を登録した後 (ii) 割り当てるライセンスをアップロードすると登録済みの製品に以下のようにライセンスを割り当てることができます:

1. [クライアント管理 タブ](#) に移動し、左側のペイン内で、ライセンスをインストールする製品が存在するクライアントマシンを選択します。
2. 右側のペイン内で、マシンの [登録済みの製品](#) を確認することができます。
3. 製品の [割り当て済みのライセンスの編集](#) ボタンをクリックします。
4. 使用することのできるライセンスのリストから割り当てるライセンスを選択します (詳細に関しては、下の [割り当て済みのライセンスの編集 ダイアログ](#) を参照してください)。
5. 「[変更を適用する](#)」をクリックします。

#### 割り当て済みのライセンスの編集 ダイアログ

登録済みの製品にライセンスを割り当てるには、その製品の「[割り当て済みのライセンスの編集](#)」ボタンをクリックします (上記のステップ3)。これにより割り当て済みのライセンスの編集 ダイアログが表示されます (下のスクリーンショット参照)。



割り当てられているライセンスの編集について以下の点に注意してください:

- ライセンスされる製品はダイアログの上部左にリストされます。上部のスクリーンショットでは、製品は Altova RaptorXML+XBRL Server です。
- サーバーがインストールされているマシン (上のスクリーンショットでは doc-aab ) が横にリストされます。
- ダイアログは、ライセンスプールにあるその製品の現在アクティブなライセンスを表示します。スクリーンショットでは、現在アクティブなライセンスである、RaptorXML+XBRL Server ライセンスがライセンスプールにあります。(LicenseServer は自動的にのライセンスが適用される製品を自動的に検知します)。
- ライセンスの種類は、コア (MobileTogether Server を含む Altova サーバー製品) または ユーザー (3.0 以前の Altova デスクトップ製品 と MobileTogether Server バージョン) であることができます。(License Type) カラムに表示されています。
- 上のスクリーンショット内のライセンスは 16 CPU コア分ライセンスされています。
- Altova サーバー製品がインストールされているサーバーのプロセッサコア数を把握する必要があります。マシンがデュアル コア プロセッサの場合、2 コア (CPU コア数) ライセンスが必要です。サーバー製品の登録に必要なコア数はマシンの名前の下にリストされています。ライセンスは必要とされるコア数をカバーする必要があり、必要とされるコア数に達成するために、ライセンスを組み合わせることもできます。ですから、例えば、マシンのプロセッサがオクタコア (8 コア) の場合、2つの 4 コアライセンスを組み合わせることができます。割り当てられているライセンスの組み合わせられたコアのカウントは、コアの必要とされる数量より少ないコア数である必要があります。
- 割り当てされたライセンスの編集 ダイアログは、製品の現在アクティブなライセンスのみをリストします。他の Altova 製品のライセンスはリストされません。
- 既に割り当てられたライセンスに関しては、たとえば、ネットワークでの製品の他のインストールは、チェックボックスがチェックされています。ですからチェックされていないライセンスのみが選択できます。
- # 列はクライアントに対して有効な CPU コア、または、ユーザーの数量 (古い MobileTogether Server の場合、MobileTogether Client の数量) を表示しています
- ライセンスプールの変更を希望する場合、例えば、ライセンスのアップロード、アクティブ化、非アクティブ化、および削除は「**ライセンスプールへの移動 (Go to License Pool)**」ボタンをクリックしてください。

割り当てを希望するライセンスの選択。ライセンスチェックボックスがチェックされます。製品のライセンスされた CPU コア数がダイアログ上部左に最大限ライセンスされた CPU コア (Max licensed CPU コア) とリストされます (上部スクリーンショット参照)。ライセンスされた CPU コア数を増やしたい場合は更にライセンスを選択することができます。最大限ライセンスされた CPU コアはこの場合、選択されたすべてのライセンスのコア総数です。

ライセンスを選択した後、「変更を適用」(Apply Changes) をクリックします。製品に割り当てられたライセンスはクライアント管理タブに表示されます(下のスクリーンショット参照)。このスクリーンショットは Altova RaptorXML+XBRL に 16-CPU-コアライセンスが割り当てられたことを表示しています。

Key Code	State	CPU Cores
M2L0CMY-W78MPXJ-A8H3C40-W5X55XY-C9C93D1	Active	16
<b>Max licensed CPU cores</b>		<b>16</b>

This server has 6 CPU core(s). Licenses for 6 CPU core(s) are required.

Limit to single thread execution

Unregister Product

## 単一スレッド実行

ライセンスプール内で1コアのみのために Altova サーバー製品ライセンスが使用することができる場合、複数のコアを持つマシンを1つのコアライセンスに割り当てることができます。このような場合、マシンはその製品を単一のコアで作動します。(マルチコアでは可能な) 複数のスレッドを使用することができないため、処理は遅くなります。製品はそのマシン上で単一スレッドモードで実行されます。

単一コアのライセンスを複数のコアのマシンに割り当てるには、その製品のために単一スレッド実行に制限チェックボックスを選択します。

**MobileTogether Server (MTS)** の場合、MTS コアライセンスのために単一スレッド実行が選択されている場合、一台のモバイルデバイスのみが MobileTogether Server に随時接続することができます。この場合、2台目のデバイスが MobileTogether Sever に接続すると 2番目のデバイスがそのライセンスを引継ぎます。最初のデバイスは接続することができなくなり、この影響のためエラーメッセージを受け取ります。

## 関連した情報

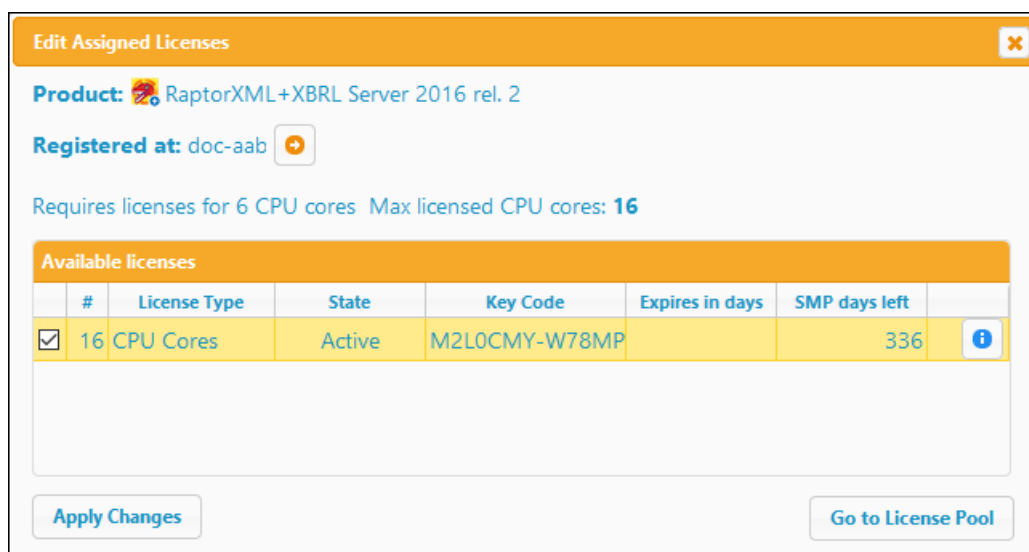
関連した情報のために下にリストされるトピックを参照してください:

- [Altova ライセンスの種類](#)
- [プロセッサコアとライセンス](#)

## 7.2 ライセンスの割り当ての解除

マシン上のソフトウェアインストールからライセンスの割り当てを解除するには、以下を行います:

1. [クライアント管理](#) タブに移動します。
2. 左側のペインで、マシンを選択し、右側のペインで割り当てを解除するソフトウェアを選択します。
3. ソフトウェアの「割り当て済みのライセンスの編集」ボタンをクリックします。The [割り当て済みのライセンスの編集ダイアログ](#) が表示されます(下のスクリーンショット参照)。



4. ライセンスの選択を解除します。
5. 「変更の適用」をクリックします。

## 7.3 割り当て済みのライセンスの編集

ライセンスが製品に割り当てられると [クライアント管理](#) タブを使用してライセンスの割り当てを解除することができます。

(右側) 製品ライセンスペイン内で(下のスクリーンショットを参照)(ライセンス情報を含むテーブルの右上にある)その製品の [割り当て済みのライセンスの編集](#) ボタンをクリックします。

**RaptorXML+XBRL Server 2016 rel. 2**

Key Code	State	CPU Cores
M2L0CMY-W78MPXJ-A8H3C40-W5X55XY-C9C93D1	Active	16
<b>Max licensed CPU cores</b>		<b>16</b>

This server has 6 CPU core(s). Licenses for 6 CPU core(s) are required.

Limit to single thread execution

**Unregister Product**

割り当て済みのライセンスの編集 ダイアログ (下のスクリーンショット) が表示されます。このダイアログはライセンスプール内にあるその製品のためのすべてのライセンスをリストし、左側の割り当て済みのライセンスのチェックボックスが選択されます。

**Edit Assigned Licenses**

**Product:** RaptorXML+XBRL Server 2016 rel. 2

**Registered at:** doc-aab

Requires licenses for 6 CPU cores Max licensed CPU cores: **16**

Available licenses						
	#	License Type	State	Key Code	Expires in days	SMP days left
<input checked="" type="checkbox"/>	16	CPU Cores	Active	M2L0CMY-W78MP		336

**Apply Changes** **Go to License Pool**

割り当てを解除するライセンスを選択し、「変更の適用」をクリックします。その製品に対してライセンスの割り当ては解除され、ライセンスを他の製品に対して使用することができます (下のスクリーンショットを参照)。

## 8 構成ページ レファレンス

LicenseServer 構成 ページ (または Web UI) は LicenseServer の管理 者 インターフェイスです。Web ブラウザー内でビューし、LicenseServer と LicenseServer に登録 されている Altova 製品 のライセンスを管理 することができます。How to open the 構成 ページの開き方は [LicenseServer の構成 ページの開きかた \(Windows\)](#)、[LicenseServer の構成 ページの開きかた \(Linux\)](#) と [LicenseServer の構成 ページの開きかた \(macOS\)](#) のセクションで説明 されています。のセクションで説明 されています。

このセクションは構成 ページのユーザーレファレンスが構成 ページのタブにより整理 されています:

- [ライセンスプール](#)
- [クライアント管理](#)
- [クライアントの監視](#)
- [設定](#)
- [メッセージ、ログアウト](#)

LicenseServer を使用したライセンスの割り当てる方法の詳細に関しては、[製品 ライセンスを割り当てる方法](#) を参照してください。

**メモ:** [LicenseServer 構成 ページ](#) は SSL をサポートしません。

### 8.1 ライセンスプール

**ライセンスプール** タブは以下の機能を提供 します (下のスクリーンショット):

- (ライセンスが保管 されるデータベースである) LicenseServer のライセンスプールにライセンス ファイル内のライセンスをアップロード。詳細 に関しては [製品 ライセンスのアップロードと認証](#) を参照 してください。
- ライセンスプール内に存在 するライセンスに関する情報 を表示 します (下のスクリーンショットを参照)。
- ライセンスプール内に存在 するライセンスを有効化、無効化、削除 します ([詳細 に関しては 下記 を参照 してください](#))。



Status	Name	Company	Product	Edition	Version	Key Code	Bundle ID	Start Date	End Date	Expires in days	SMP days left	#	License Type	Clients
<input type="checkbox"/>			All Products	All	All									
<input type="checkbox"/>	Active	Altova GmbH	DatabaseS...	Enterprise Editi	2015 rel. 4	GWS36BI-	{D5FC74C	2015-06	-	-	355	50	Installed Usert	0/50 users 1/50 machir
<input type="checkbox"/>	Active	Altova GmbH	FlowForce Ser		2015 rel. 4	9FUJUP0P-	-	2015-05	-	-	328	8 CPU Cores		
<input type="checkbox"/>	Active	Altova GmbH	MapForce	Enterprise Editi	2015 rel. 4	BCEB4BI-	{D5FC74C	2015-06	-	-	355	50	Installed Usert	0/50 users 1/50 machir
<input type="checkbox"/>	Active	Altova GmbH	MapForce Ser		2015 rel. 4	23A8TT1-	-	2015-05	-	-	328	8 CPU Cores		
<input checked="" type="checkbox"/>	Active	Altova GmbH	RaptorXML+X		2015 rel. 4	M2L0CMY-	-	2015-05	-	-	328	16 CPU Cores	running assigned	
<input type="checkbox"/>	Active	Altova GmbH	RaptorXML Se		2015 rel. 4	847AXW4-	-	2015-05	-	-	328	16 CPU Cores		
<input type="checkbox"/>	Active	Altova GmbH	SchemaAg...		2015 rel. 4	GWVWBWI-	{D5FC74C	2015-06	-	-	355	50	Installed Usert	0/50 users 1/50 machir

このページ上の **アップロード** ボタンを使用して、LicenseServer にライセンスファイルがアップロードされると、ライセンスファイル内に含まれているすべてのライセンスは LicenseServer 上のライセンスプールにアップロードされます。ライセンスプールタブにより LicenseServer 上で現在使用することのできるすべてのライセンスの概要が表示されます。ライセンスが有効化されると、LicenseServer に登録された製品に割り当てられます。

このトピックは (i) ライセンスプールタブ内で表示されている [ライセンスに関する情報の意味を説明し](#)  
(ii) [ライセンスを有効化、無効化、削除](#) する方法について説明しています。

## ライセンス情報

次のライセンス情報が表示されます:

- 状態: 以下の値であることができます: [アクティブ化](#) | [失敗した検証](#) | [アクティブ](#) | [非アクティブ](#) | [ブロックされた](#)。次を参照してください: [ライセンスの状態](#)。
- 名前、会社: ライセンスの名前と会社名です。この情報は、購入の際に購入者により提供された情報を基にしています。
- 製品、エディション、バージョン: ライセンスされている製品のバージョンとエディションです。各列の一番上は、ライセンスをカテゴリ別にフィルターするコンボボックスです。
- キーコード、バンドル ID: 製品のロックを解除するライセンスキーです。単一の Altova MissionKit バンドル内の全ての製品は、バンドル ID 同じを有しています。バンドルされていない製品には、バンドル ID は存在しません。
- 開始日、終了日: ライセンスの有効期限を示します。有効期限の無いライセンスには、終了日がありません。
- 有効期限日数、SMP (残りの日数): ライセンスの有効期限が切れるまでの日数。ライセンスされている各購入には、特定の日数の間有効なサポート & メンテナンスパッケージが付随します。SMP 列は、有効な SMP 日数を表示しています。
- #、ライセンスの種類: # 列内にリストされている許可されているユーザーまたは CPU コアの数量です。ライセンスが管理するユーザーまたはコアが [ライセンスの種類](#) 列で表示されます (詳細に関しては [Altova ライセンスの種類](#) を参照してください)。Altova デスクトップ製品の場合、ユーザー (同時実行ユーザーライセンスの場合はマシンユーザー、名前が付け

られているユーザーライセンスの場合は名前の付けられているユーザー)をベースにライセンスは割り当てられています。Altova サーバー製品の場合は、CPU コアをベースにライセンスは割り当てられています([プロセッサコアとライセンス](#)を参照してください)。

- クライアント: この列の情報は製品がデスクトップ製品、または、サーバー製品であるかにより異なり 違いは以下で説明されるとおりです。デスクトップ製品の場合、ユーザーカウントとマシンカウントが提供されています。サーバー製品の場合、以下が示されています: (i) 割り当て済みのライセンスは割り当て済みにより示されています。 (ii) 作動中のサーバー製品によりライセンスが使用されている場合、**作動中**が表示されます。この列内のアイコンをクリックすると実行されるアクションは[以下で説明される](#)とおりです。




#### デスクトップ製品のためのクライアント情報


- デスクトップ製品に与えられているユーザーアカウントとマシンカウント。
- マシンカウントは割り当て済みのライセンスの数量を示しています。例えば、7/10 マシンは10台の([マシンユーザー、または、名前の付けられたユーザー](#))クライアント上でソフトウェアが作動すること許可されており 7台のクライアントにライセンスが割り当てられていることを意味します。
- ユーザーカウントは現在作動している([マシンユーザー、または、名前の付けられたユーザー](#))クライアントの数量を示しています。例えば、3/10 ユーザーは許可されている10人のユーザーのうち3人によりライセンスが使用されていることを示しています。
- ユーザーカウントとマシンカウントはともに与えられているライセンスの現在のライセンス供与能力と使用状況を示しています。例えば、マシンカウントが7/10の場合、そしてユーザーカウントが3/10の場合、以下を情報を知ることができます: (i) 10台のマシン上で、または(インストール済みのユーザーライセンスの場合) 10名のユーザーに対して(名前が付けられているユーザーライセンス)ソフトウェアの使用が許可されています。 (ii) 7台のマシン(または7名のユーザー)に対してソフトウェアはライセンスされています。 (iii) 7つのライセンス供与済みのソフトウェアのインストール中、3つのソフトウェアのインストールが現在作動しています。異なるライセンスの型に関する情報に関しては、[Altova ライセンスの種類](#)を参照してください。
- この列内に表示されるアイコンに関する情報は、[下](#)を参照してください。

#### サーバー製品のためのクライアント情報

- ライセンスが割り当て済みかを表示します。割り当てられている場合、**割り当て済み**が表示されています。それ以外の場合、フィールドは空です。
- ライセンスが製品のインストールに割り当てられている場合、そして、インストールが現在作動している場合、(**割り当て済み**に加え)**作動中**が表示されます。それ以外の場合フィールドは **割り当て済み**のみを含んでいます。
- この列内に表示されるアイコンに関する情報は、[下](#)を参照してください。

#### ライセンスプール(License Pool) タブのアイコン

-  Altova MissionKit ロゴ。デスクトップ製品ライセンスが [MissionKit ライセンス](#)の一部である場合、Altova デスクトップ製品名の横に表示されます。MissionKit Licenseの一部である製品ライセンスが特定のユーザーに割り当てられている場合、MissionKit パンドル内の他の製品ライセンスのすべてが同じユーザーに割り当てられます。
-  割り当てられたクライアントの表示。割り当てられたライセンスのクライアント列内に表示されます。クライアントの登録されている製品のライセンスを管理する [クライアント管理](#) タブに移動します。
-  実行中のクライアントの表示。現在さぶ中ソフトウェアに割り当てられているライセンスのクライアント列内に表示されます。ソフトウェアを差ぶしているクライアントマシンの[クライアントの監視](#)に移動します。ここで、選択されたクライアントと登録されたソフトウェアが表示されます。

-  情報の表示。割り当てられていないライセンスのクライアント列内に表示されます。ユーザーの人数、ライセンスがライセンスバンドルの一部であるか等のライセンスに関する情報を表示します。

### ライセンスのアクティブ化、非アクティブ化、および削除

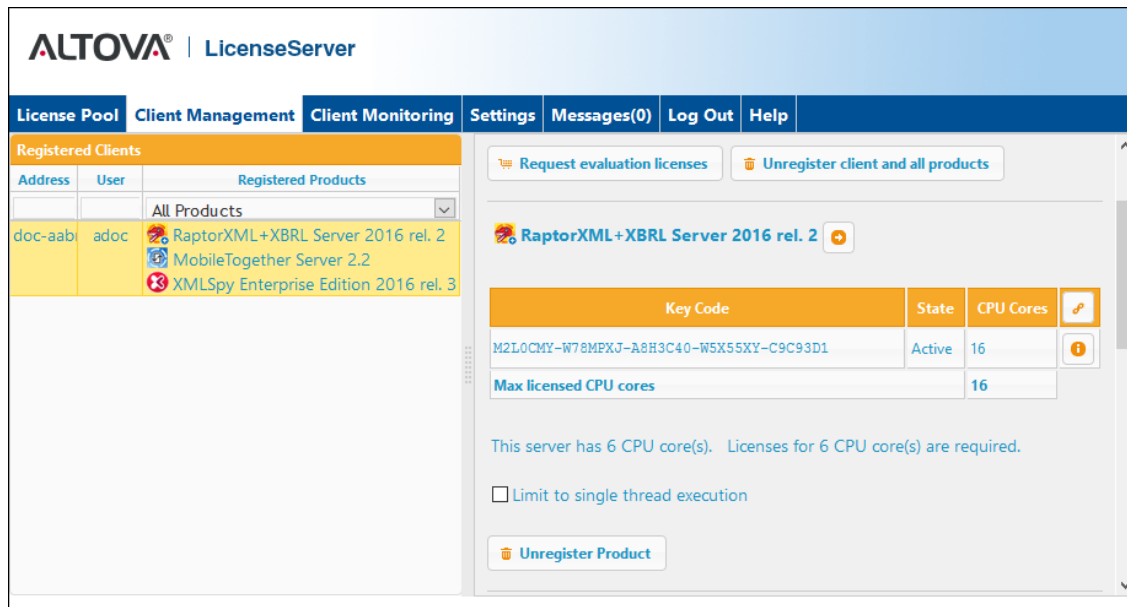
ライセンスをアクティブ化、非アクティブ化、または、削除する場合、左側のチェックボックスがチェックされるようにライセンスを選択します。「**アクティブ化**」、「**非アクティブ化**」、または、「**削除**」を必要に応じてクリックします。

以下の点に注意してください:

- アクティブではないライセンスをアクティブ化し、アクティブではないライセンスをアクティブ化することができます。
- アクティブではないライセンスのみを削除することができます。これは、アクティブなライセンスが削除する前に非アクティブ化されなければならないことを意味します。
- ライセンスが削除されると、ライセンスプールから削除されます。
- 削除済みのライセンスは削除済みのライセンスを含むライセンスファイルをアップロードすることによりライセンスプールに再度追加することができます。ライセンスファイルが再度アップロードされると、ライセンスプール内で準備されていないライセンスのみがライセンスプールに追加されます。ライセンスプール内に既存のライセンスは再度追加されません。

## 8.2 クライアント管理

クライアント管理タブ(下のスクリーンショット)はLicenseServerに登録されているすべてのクライアント(マシンユーザーと名前が付けられているユーザー)の概要を提供します。各クライアントに関しては、登録済みの製品が表示されており登録済みの製品のライセンスを管理することができます。製品とクライアントの登録を解除することができます。



クライアント管理 タブは2つのペインに分割されています:

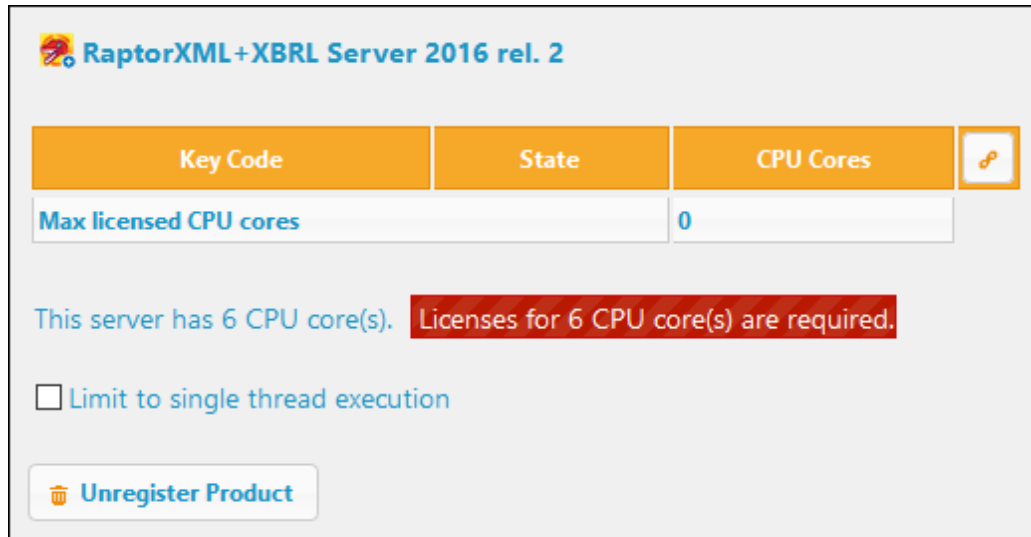
- **登録済みのクライアント:** 左側のペインは [LicenseServer に登録済みの](#) Altova 製品が一つでも存在するネットワーク上のクライアント(マシンユーザーと名前付けられているユーザー) のリストをテーブルで示しています。このようなクライアントは登録済みのクライアントと呼ばれます。各登録済みのクライアントは、登録済みの製品とともに左側のペインにリストされています。このペイン内の表示は、フィルターを選択、または、ペインの列の一つの上にフィルターを入力して行うことができます。
- **製品のライセンス:** これは右側のペインです。登録済みのクライアントが左側(登録済みのクライアント) ペインで選択されているとクライアントの登録済みの製品が右側のペイン内でライセンスの詳細が表示されます。ここで各登録済みの製品のライセンスを管理することができます。また、[製品とクライアントの登録を解除することができます](#)。更に、サーバー製品ライセンスを1コアのみ使用するようこのペインでセットアップすることができます。[単一スレッドの実行](#)を参照してください。

## クライアント管理タブを理解する

クライアント管理タブに関して以下の点に注意してください:

- 左側のペイン内で、各登録済みクライアントは登録済みの製品と共に表示されています。上のスクリーンショットの(左側のペイン内で) LicenseServer に登録されている3つの製品がある1つのクライアントが存在することが示されています。異なるクライアントマシン上で Altova 製品がこの LicenseServer に登録されている場合、登録済みの製品も左側のペインに表示されます。
- 左側のペイン内でクライアントマシンを選択すると、クライアントの登録済みの製品のライセンスの詳細が右側 ペイン内に表示されます。ここで、各製品のライセンスの割り当てを編集することができます。
- (右側) **製品ライセンス** ペイン内に各登録済みの製品が、ライセンスのキーコードを取る、キーコードエントリとして表示されます。**割り当て済みのライセンスの編集** ボタンをクリックして、ライセンスプール内でその製品に使用することのできる必要なライセンスを選択することにより、登録済みの製品はライセンスに割り当てられます。[手続きの詳細](#)に関しては [ライセンスの割り当て](#) を参照してください。




- サーバー製品は、そのクライアント上の製品を作動するために必要なコア数が表示されます。ライセンスされたコアの数が必要なコア数より少ない場合、情報は赤色で表示されず(下のスクリーンショットを参照)。(ライセンス供与に必要な CPU コアの数量はそのクライアント上の物理的な CPU コアの数量であり、LicenseServer によりクライアントマシンから取得されます。)



- 単一のデスクトップ製品の**複数のバージョン**(例えば、XMLSpy 2018 および XMLSpy 2019)が一つのマシンにインストールされており、これらのインストールが単一のLicenseServer に登録されている場合、クライアント管理タブ内で複数の登録は単一の登録に結合され、単一の登録として表示されます。ライセンスが単一の登録に割り当てられると、その登録により示されるインストールに対してライセンスが供与されます。これらのインストールの一つの複数のインスタンスのみが同時に作動することができます。例えば、XMLSpy 2018 の複数のインスタンス、または、XMLSpy 2019 の複数のインスタンスは同時に作動することができますが、XMLSpy 2018 の1つのインスタントとXMLSpy 2019 のインスタンスは同時に作動することができません。

## 8.2.1 ライセンスの割り当て

### クライアント管理タブ内のアイコン

-  **割り当てられたライセンスの編集。** 製品のリストで使用することができます。新しいライセンスを製品に割り当てることのできる、すでに割り当てられたライセンスを編集できる [割り当てられたライセンスの編集](#) がポップアップします。
-  **ライセンスの表示。** ライセンスに表示されます。 [License Pool タブ](#) に切り替えができ、選択されたライセンスをハイライトされることによりライセンスの詳細がわかります。
-  **製品の登録解除。** (選択されたクライアントマシン上の) 各製品で利用可能です。選択された製品を LicenseServer から削除することができます。 [製品の登録解除](#) を参照してください。クライアントとその全ての製品の登録解除を行うには、ペインの上の「**クライアントとその全ての商品の登録を解除する**」(Unregister client and all products) をクリックしてください。

### 登録済みの製品にライセンスを割り当てる方法

(右側) 製品 ライセンス ペイン 内で登録済みの製品にライセンスを割り当てるには、(下のスクリーンショットを参照) その製品の「割り当て済みのライセンスの編集」ボタンをクリックします (アイコンに関しては、上のセクションを参照してください)。

**RaptorXML+XBRL Server 2016 rel. 2**

Key Code	State	CPU Cores
Max licensed CPU cores		0

This server has 6 CPU core(s). **Licenses for 6 CPU core(s) are required.**

Limit to single thread execution

**Unregister Product**

割り当て済みのライセンスの編集 ダイアログ (下のスクリーンショット) が表示されます。ダイアログはライセンスプール内のその製品のためのすべてのライセンスをリストしています。ライセンスが割り当てられると (下のスクリーンショットで示されるとおり) 左側のチェックボックスが選択されます。ライセンスを使用できる場合、チェックボックスは選択されません。

**Edit Assigned Licenses**

**Product:** RaptorXML+XBRL Server 2016 rel. 2

**Registered at:** doc-aab

Requires licenses for 6 CPU cores Max licensed CPU cores: **16**

Available licenses						
	#	License Type	State	Key Code	Expires in days	SMP days left
<input checked="" type="checkbox"/>	16	CPU Cores	Active	M2LOCMY-W78MP		336

**Apply Changes** **Go to License Pool**

割り当てるライセンスを選択し、「変更の適用」(Apply Changes) をクリックします。ライセンスは、その製品に割り当てられ、クライアント管理 タブの製品のライセンス タブ内に表示されます (下のスクリーンショット参照)。

**RaptorXML+XBRL Server 2016 rel. 2**

Key Code	State	CPU Cores
M2L0CMY-W78MPXJ-A8H3C40-W5X55XY-C9C93D1	Active	16
<b>Max licensed CPU cores</b>		<b>16</b>

This server has 6 CPU core(s). Licenses for 6 CPU core(s) are required.

Limit to single thread execution

**Unregister Product**

### 単一スレッドの実行

ライセンスプール内で1コアのみのために Altova サーバー製品 ライセンスが使用することができる場合、複数のコアを持つマシンを1つのコアライセンスに割り当てることができます。このような場合、マシンはその製品を単一のコアで作動します。(マルチコアでは可能な) 複数のスレッドを使用することができないため、処理は遅くなります。製品はそのマシン上で単一スレッドモードで実行されます。

単一コアのライセンスを複数のコアのマシンに割り当てるには、その製品のために **単一スレッド実行に制限** チェックボックスを選択します。

**MobileTogether Server (MTS)** の場合、MTS コアライセンスのために単一スレッド実行が選択されている場合、一台のモバイルデバイスのみが MobileTogether Server に随時接続することができます。この場合、2台目のデバイスが MobileTogether Server に接続すると 2番目のデバイスがそのライセンスを引継ぎます。最初のデバイスは接続することができなくなり、この影響のためエラーメッセージを受け取ります。

## 8.2.2 評価ライセンスのリクエスト

30日間使用が無料の評価ライセンスを、LicenseServer に登録されているインストール済みの Altova サーバー製品のそれぞれのために取得することができます。(右側)上にある [製品のライセンス](#) [スペイン](#) [評価ライセンスのリクエスト](#) ボタンをクリックします(下のスクリーンショットを参照)。

**メモ:** **サーバー製品のためにのみ** LicenseServer を介して評価ライセンスを取得することができます。デスクトップ製品に関しては、使用中のデスクトップ製品のソフトウェアライセンス認証ダイアログを介して評価ライセンスをリクエストすることができます。

Request evaluation licenses    Unregister client and all products

RaptorXML+XBRL Server 2016 rel. 2

Key Code	State	CPU Cores	
M2L0CMY-W78MPXJ-A8H3C40-W5X55XY-C9C93D1	Active	16	
Max licensed CPU cores		16	

This server has 6 CPU core(s). Licenses for 6 CPU core(s) are required.

Limit to single thread execution

Unregister Product

(クライアントマシン上の) LicenseServer に登録されている Altova 製品のリストを含むダイアログが表示されます。評価ライセンスを必要とする製品がチェックされ選択されていることを確認し、登録フィールドに記入し、リクエストを送信します。30 日間有効な評価ライセンスが含まれる電子メールを Altova から受信します。サーバー製品に関しては、リクエストが送信された時点で製品が必要とする有効なコア数が含まれます。ライセンスをディスクに保存して、[ライセンスプールにアップロードします](#)。

### 8.2.3 製品とクライアントの登録の解除

登録済みのクライアントの登録済みの製品は (右側) [製品のライセンスペイン](#)内にリストされています (下のスクリーンショットを参照)。



Request evaluation licenses    Unregister client and all products

RaptorXML+XBRL Server 2016 rel. 2

Key Code	State	CPU Cores
M2L0CMY-W78MPXJ-A8H3C40-W5X55XY-C9C93D1	Active	16
Max licensed CPU cores		16

This server has 6 CPU core(s). Licenses for 6 CPU core(s) are required.

Limit to single thread execution

Unregister Product

- LicenseServer に登録されている各 Altova 製品 が右側のペイン (製品のライセンス) で クライアントマシン名の下に表示されます。 「製品の登録解除」(Unregister Product) ボタンがエントリの下に表示されています。 LicenseServer から製品の登録を解除するためにこのボタンをクリックします。製品にライセンスが割り当てられている場合、割り当ては、製品の登録が解除されると解消されます。
- (Unregister client and all products) ボタンをクリックしてください (このセクションの最初のスクリーンショットを参照してください)。

### 製品の再登録

製品を再登録するには、最初に [製品を登録](#) の際と同じステップに従ってください。

## 8.2.4 異なる名前に登録されている1台のマシン

Altova 製品が LicenseServer に登録されると、クライアントマシンは LicenseServer に自動的に登録されます。クライアントマシンが LicenseServer に一度以上登録されると、マシンはクライアント管理タブで複数の名前が表示される、すなわち複数のエントリと共に表示される可能性があります。これは、マシンのホスト名が前の登録とは異なる書式を与えられている場合に発生する可能性があります。

2つの状況が引き起こされます:

- 異なる名前と同じマシンに割り当てられているため、同じ製品に対して複数のライセンスが割り当てられます。
- 1つのライセンスが複数回、複数のマシン名で単一のマシン上の製品に割り当てられていま

す。

これらのシチュエーションの発生を回避するために、[製品とクライアントの登録の解除](#)内で説明されている余分のクライアントマシンの登録を解除します。

### マシン名の形態

クライアント管理 タブ内でとられるマシン名のフォームが以下にリストされています:

- ドメイン名を持つホスト名 (完全修飾されたドメイン名、FQDN)例: "win80-x64\_1.my.domain.com" または "Doc3.my.domain.com"。これは(ドメイン情報を持つ、または、持たない) マシンのホスト名が LicenseServer に登録するために使用される licenseserver CLI コマンドの引数としてパスされた場合に発生します。例:  
<AltovaServerProduct> licenseserver Doc3. これは以下を含む FQDN を作成します : Doc3.my.domain.com.

FQDN は、また localhost が Windows 7 と 10 システム上でホスト名として与えられた場合に生成されます。

- ドメイン名を持たないホスト名。例: "win80-x64\_1" または "Doc3"。これは、Windows 8 システム上で localhost がマシン名として与えられた場合、発生します。
- localhost. 一部の場合、localhost は、マシン名として表示されます。

**メモ:** Windows マシンに Altova サーバー製品をインストール中、マシンが自動的に LicenseServer に登録される場合、localhost がインストーラーマシン名として使用されません。

#### VPN を介して LicenseServer へ接続

クライアントマシンが仮想プライベートネットワーク (VPN) サービスを介してネットワークに接続する場合、クライアントマシンは、動的に IP アドレスを割り当てられ、接続の都度、異なるマシンとして識別されるようになります。この結果により発生する問題を解決方法については、[ネットワーク情報](#)を参照してください。

## 8.3 クライアントの監視

**クライアントの監視** タブにより選択されたクライアントマシンの概要を確認することができます。このタブは2つのカテゴリ内のクライアントに関する情報を表示します:

- チェックアウト済みのクライアントと
- 作動中のクライアント

### チェックアウト済みのクライアント

(サーバー製品ではなく) XMLSpy または MapForce などの、[Altova デスクトップ製品](#) のエンドユーザーは、LicenseServer に登録されているライセンスをチェックアウトすることができます。クライアントが特定の期間オフラインになることが想定される場合にチェックアウトします。マシンがオフラインの期

間、ライセンスを LicenseServer (クライアントにより) からチェックアウトすることができます。この期間、Altova デスクトップ製品を LicenseServer に連絡を取ることなく使用し続けることができます。[ライセンスのチェックアウト](#)を参照してください。

現在チェックアウトされているライセンスとユーザーは、チェックアウト期間とクライアントとチェックアウトに関する他の情報と共に、チェックアウトこのヘディングの下でのモニタリングタブ内にリストされています。

### 作動中のクライアント

このセクションは、ライセンス供与済みの製品が現在作動中のクライアント (マシンユーザーと名前を持つユーザー) をリストします。デスクトップ製品の場合、作動中の製品は既に開始されている製品です。サーバー製品の場合、サーバーが開始されている場合、製品は作動しています。製品の複数のインスタンスが作動中の場合、それぞれのインスタンスがリストされます。

Running Clients								
Product	Edition	Version	User	Address	State	Failover	Last seen (seconds ago)	
RaptorXML+XBRL Serv		2016 rel. 2	DOBRA	doc-aab	Running		8	
XMLSpy	Enterprise Editio	2016 rel. 3	adoc	doc-aab	Running		11	

### クライアントの監視タブ内のアイコン

- ライセンスの表示。製品のインスタンスに表示されます。[ライセンスプール](#) タブに切り替えができ、選択された製品のインスタンスがハイライトされることによりライセンスの詳細がわかります。
- クライアントの管理。各製品のインスタンスに表示されます。[クライアント管理](#) タブに切り替えができ、選択された製品のインスタンスをハイライトします。

## 8.4 設定

「設定」タブは複数のペインから構成されており、それぞれのペインには LicenseServer と作業する多数の観点のための設定が含まれています。LicenseServer パスワードをリセットなどの単純な管理者タスクから、電子メールの通知設定およびネットワーク設定とフェールオーバー (冗長な) サーバーの構成などの特別なタスクなどの設定が含まれています。

各ペインの設定はこのセクションのサブセクション内で説明されています:

- [メンテナンス](#)
- [フェールオーバー LicenseServer 設定](#)
- [LicenseServer パスワード](#)
- [接続チェック](#)
- [ライセンスのチェックアウト](#)
- [Web UI](#)
- [プロキシサーバー](#)
- [ライセンスサービス](#)
- [通知メール](#)

- [その他](#)

**メモ:** タブの最後のペイン内で設定を変更した後、最後のペインの下の「保存」をクリックします (このペイン内の設定が変更されると、保存されるまで効果は反省されません)。

### 8.4.1 メンテナンス

この設定によりLicenseServer がシャットダウンするまでの時間を設定することができます。通常 サーバーシャットダウンはサーバーのメンテナンスのために実行され、Altova デスクトップ製品を作動するクライアント上の作業を保存するために使用されます。

Maintenance

Shutdown LicenseServer in:

**Please note:** The shutdown is delayed by the amount of time you choose above in order to allow running desktop clients to save their work. Therefore the LicenseServer will shutdown as soon as no desktop client is running or the time has expired.

To allow all clients to run during the whole maintenance period of the LicenseServer, please configure a Failover LicenseServer below. In this case the LicenseServer will shutdown as soon as the Failover LicenseServer has taken over.

以下の点に注意してください:

- 選択されるシャットダウンタイムはシャットダウンするまでの最長時間です。LicenseServer がデスクトップ製品を作動するクライアントに接続されていない場合、LicenseServer は早くシャットダウンします。
- 「シャットダウン」(Shutdown) をクリックするとシャットダウンのカウントが開始されます。
- シャットダウンをキャンセルするには、「シャットダウンの中断」(Abort Shutdown)をクリックします。

**メモ:** LicenseServer シャットダウン中にクライアントの作動を有効化するには、[フェールオーバー LicenseServer](#) を構成します。

### 8.4.2 フェールオーバー LicenseServer 設定

プライマリの LicenseServer が使用できなくなった場合、2番目の LicenseServer がプライマリの LicenseServer を引き継ぐように構成することができます。この2番目の LicenseServer は「フェールオーバー LicenseServer」(Failover LicenseServer) と呼ばれ、フェールオーバー LicenseServer 設定ペイン内で構成されます (下のスクリーンショット)。

### Failover LicenseServer Settings

To reduce the risk of an unavailable LicenseServer you can configure a second LicenseServer as a backup or "Failover LicenseServer".  
In the event that the Primary LicenseServer becomes unavailable a Failover LicenseServer can take over.

#### LicenseServer Mode

Primary LicenseServer

Failover LicenseServer

**Please note:** The Failover LicenseServer periodically synchronizes all licenses, registered clients and license assignments from the Primary LicenseServer. Whenever a Failover LicenseServer takes over from a Primary LicenseServer any changes to these items made on the Failover LicenseServer during this period will be lost as soon as the Primary LicenseServer regains control. Other settings such as Proxy Server and Mail settings are independently set in each server and are not synchronized.

This is a Failover LicenseServer for the LicenseServer at **kubu6.altova.com**

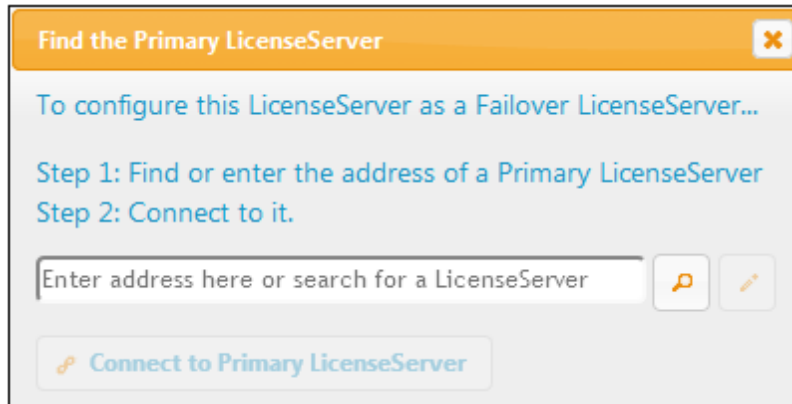
Last seen 2/5/2015, 11:56:04 AM

フェールオーバー LicenseServer を書きの設定を使用して構成するには、フェールオーバー LicenseServer の仕組みに関する概要に関しては、[一般的な情報](#) セクション内の [フェールオーバー LicenseServer](#) を参照してください。

### フェールオーバー LicenseServer の構成

LicenseServer をネットワーク上で作動する LicenseServer のフェールオーバー LicenseServer としてセットアップするには、以下を行います：

1. LicenseServer をインストールセクション内で説明されている通りにインストールします。
2. LicenseServer のモードを対応するラジオボタンをクリックして *フェールオーバー LicenseServer* に設定します (*上のスクリーンショット参照*)。 (デフォルトでは、LicenseServer モードは *プライマリ LicenseServer* に設定されています)。
3. 表示される「*プライマリ LicenseServer の検索*」ダイアログ内で (*下のスクリーンショット*) *フェールオーバー LicenseServer* とバックアップする *プライマリ LicenseServer* を入力します。2つの方法を使用して行うことができます： (i) 「**LicenseServer の検索**」 (**Search for LicenseServers**) をクリックして、コンボボックス内から、検知された LicenseServers のリストからバックアップする LicenseServer を選択します。 (ii) 「**手動でアドレスを入力**」 (**Manually Enter Address**) をクリックして、(URL ではなくホスト名 または IP アドレス) バックアップする LicenseServer のアドレスを入力します。 *プライマリ LicenseServer* を入力後、「**プライマリ LicenseServer へ接続**」 (**Connect to Primary LicenseServer**) をクリックします。



- 現在の LicenseServer を(選択されたプライマリ LicenseServer の)フェールオーバー LicenseServer に設定するかを確認する確認ダイアログが表示されます。確認する場合、「はい」(Yes) をクリックします。確認を続行すると、現在の LicenseServer 上でインストール済みのライセンスと登録済みのクライアントは削除されることに注意してください。

フェールオーバー LicenseServer の構成後、プライマリ LicenseServer とフェールオーバー LicenseServer に関しては構成ページの上で状態に関する情報が表示されます。上の2つのスクリーンショットでは、フェールオーバー LicenseServer が最初に表示され、プライマリ LicenseServer が表示されます。



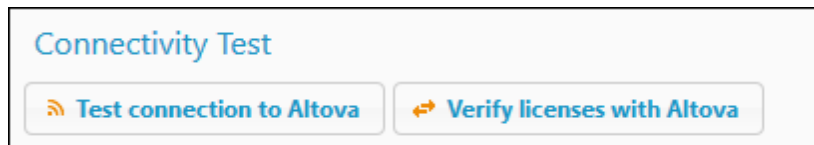
### 8.4.3 LicenseServer パスワード

LicenseServer にログインするためにパスワードをリセットすることができます。

設定する新規のパスワードを入力し、「パスワードの変更」(Change Password) をクリックします。「New Password」フィールド内で入力が一致するまで、「Confirm New Password」フィールドが赤字で表示されます (スクリーンショットの参照)。

### 8.4.4 接続のテスト

「Altova への接続のテスト」(Test Connection to Altova) をクリックして Altova への接続性をテストすることができます(下のスクリーンショットを参照)。設定を変更すると、接続をテストする前に(タブの下の「保存」(Save) ボタンをクリックして)新規の設定を保存する必要があります。

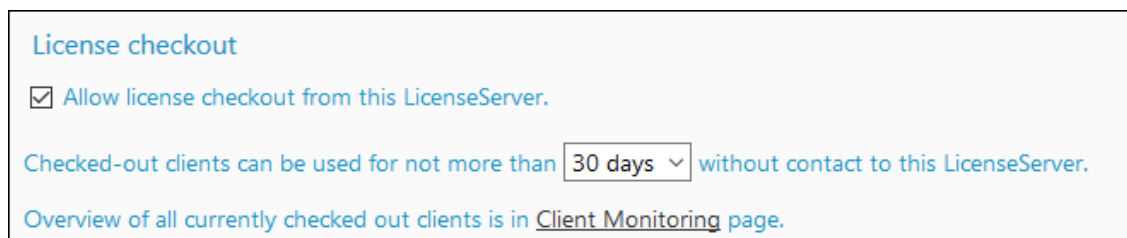


テスト中に「Altova への接続のテスト」(Test Connection to Altova) ボタンが無効化され、テストが完了すると再度有効化されます。

「Altova とライセンスの検証」(Verify licenses with Altova) をクリックしてライセンスプール内に現在存在するライセンスを検証することもできます。変則が検知されると、メッセージ内に表示されます。

### 8.4.5 ライセンスのチェックアウト

Altova デスクトップ製品がインストールされているマシンにライセンスプールからデスクトップライセンスがチェックアウトできるかを選択することができます。これを許可するには、LicenseServer から取得されたライセンスを持つクライアントがこのライセンスをチェックアウトすることができ、この設定内で指定されている最長期間中にモニターされていないことが条件です。チェックアウトのために許可されている最長の期間は 30 日間です。(旅行などで) LicenseServer へのアクセスが不可能な場合、または、LicenseServer モニタリングが技術的な観点から必要とされない場合でも Altova デスクトップ製品の使用を継続することが可能になります。) Altova デスクトップアプリケーションの「ヘルプ | ソフトウェアのアクティベーション」(Help | Software Activation)コマンドを使用してチェックアウトを行うことができます。



LicenseServer 内のこの設定により以下を行うことができます:

- ライセンスのチェックアウトを有効化します。
- 許可するチェックアウトの最大の日数を指定します。

ライセンスのチェックアウト後、[クライアントのモニター](#) タブのチェックアウト済みのクライアントセクションに移動されます。チェックアウト済みのライセンスは、使用中とみなされ、ネットワーク上の他のクライア

ントで使用することはできません。

### 8.4.6 Web UI

Web UI 設定 (下のスクリーンショット) は Web UI (または、[構成ページ](#))のためのネットワークアクセスを指定します。

Web UI

Changing these settings will cause the LicenseServer to restart and any currently running and licensed applications will be shut down!

Configure the host addresses where the web UI is available to administrators.

All interfaces and assigned IP addresses

Only the following hostname or IP address:

Ensure this hostname or IP address exists or LicenseServer will fail to start!

Configure the port used for the web UI.

Dynamically chosen by the operating system

Fixed port

Ensure this port is available or LicenseServer will fail to start!

- Web UI のための許可されている IP アドレスは以下であることができます: (i) そのマシンの全てのインターフェイスと IP アドレス、または、(ii) 固定されたアドレス。
- ポートは動的に計算、または、固定のポートを使用することができます。この設定は IP アドレス設定と共に許可されている IP-Address:Port 設定の広範囲を有効化することができます。デフォルトのポート設定は「8088」です。

デフォルトの設定により、LicenseServer が接続されるネットワーク内からの LicenseServer とその構成ページへの制約されていないアクセスを許可します。LicenseServer ヘクライアントが持つアクセスを制限する場合、許可する設定を入力して、「保存」(Save) をクリックします。

[接続チェック](#) を作動して、設定が正確に設定されているかチェックします。

### 8.4.7 プロキシサーバー

インターネットに接続するためにプロキシサーバーが使用されている場合、プロキシサーバーペイン内にプロキシサーバーの詳細が入力される必要があります (下のスクリーンショット)。インターネットへのアクセスがプロキシサーバー無しで行われている場合、プロキシサーバーの設定は空白のままにしておくことができます。



### Proxy Server

Configure the proxy server connection details if a proxy server is needed to communicate with Altova's servers.

Hostname

Port Number  If the port number is left blank the default port 1080 will be used.

User Name

Password  Leave the user name and password blank if no authentication is required.

LicenseServer がプロキシサーバーを使用するように構成するには、プロキシサーバーのホスト名を入力し、必要であれば、ポート番号を入力します。プロキシサーバーが認証を必要としない場合、「ユーザー名とパスワード」パスワードフィールドを空のままにすることができます。必要とする設定を入力後、「保存」(Save) をクリックします。設定の正確性を確認するために [接続チェック](#) を行います。

## 8.4.8 ライセンスサービス

License Server がインストールされているマシンは、1つまたは複数のネットワークインターフェイスを介して接続することができます。各ネットワーク上で、License Server マシンは、のホスト名とIP アドレスとして知られています。ライセンスサービスの設定によりどのネットワーク上でライセンスサービスを使用できるか構成することができます (下のスクリーンショットを参照)。

### License Service

Configure the host addresses where the LicenseServer service is available to clients.

All interfaces and assigned IP addresses

Local only (localhost)

Only the following hostnames or IP addresses:

Ensure the hostnames or IP addresses exist or LicenseServer will fail to start!

- localhost オプションはサービスをローカルマシン上でのみ許可します。
- ホスト名およびまたは IP アドレスをリストする場合、スペースの無いコンマで区切られたリストを使用してください (例: hostname1、IPAddress1、hostname2)。
- サービスのポート番号は 35355 に固定されています。

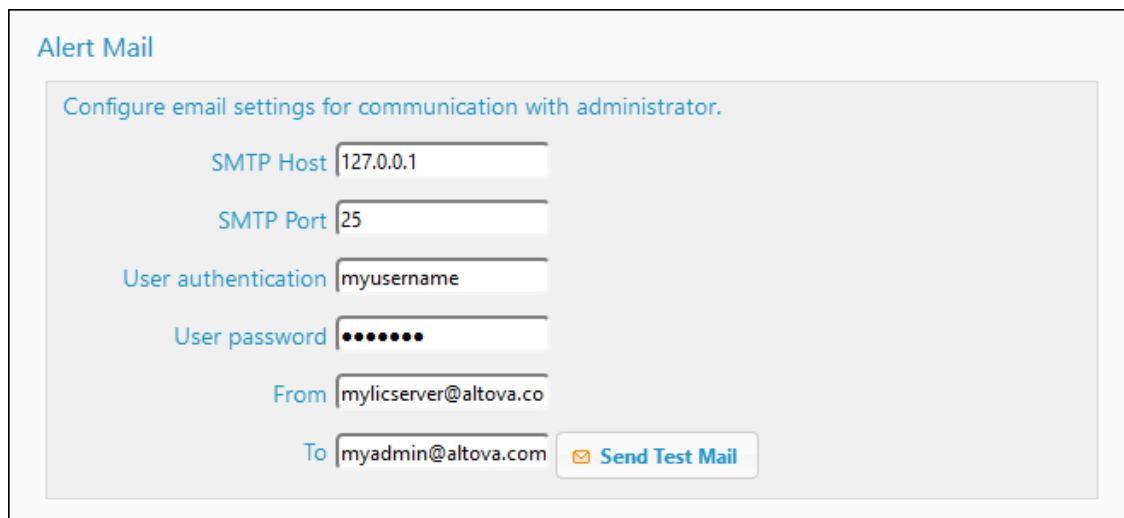
変更後、設定が反映されるため 「保存」(Save) にをクリックします。接続チェックを実行して、設

定の正確性をチェックしてください(上を参照)。

### 8.4.9 通知メール

通知メールを、重要な LicenseServer イベントが発生すると指定された電子メールアドレスに送信することができます。重要なイベントのサンプルは以下の通りです: Altova LicenseServer は altova.com サーバー (マスター LicenseServer) に接続されている必要があります。24\*5 時間 (5 日間)以上接続が中断されると (your) LicenseServer はライセンスを許可しません。この結果、LicenseServer によりライセンスされている Altova 製品とのセッションは、中断される可能性があります。管理者に接続の中断を通知するために、電子メールアドレスに通知メールを送信することができます。メモ: LicenseServer は 24 時間ごとに altova.com にあるマスター LicenseServer に通信します。

通知メール設定は管理者電子メールアドレスに通知メールを送信するための構成を定義します(下のスクリーンショットを参照)。

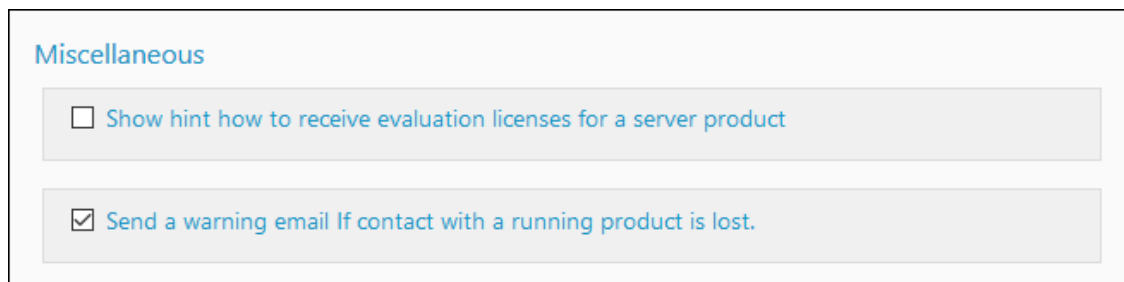


- SMTP ホストとSMTP ポートは通知電子メールが送信される電子メールサーバーのアクセスの詳細です。
- ユーザーの認証とユーザーパスワードはユーザーの電子メールサーバーへのアクセスのための資格です。
- 送信者 フィールドは電子メールが送信される電子メールからの電子メールアカウントのアドレスを取ります。
- 宛先 フィールドは宛先の電子メールアドレスを取ります。
- [その他ペイン](#) 内の警告電子メールの送信オプションも電子メールの設定を使用しています(このオプションの詳細に関しては [その他のペイン](#) forを参照してください)。

「保存」(Save) を完了時にクリックします。通知メール設定を保存すると altova.com への通信が失われた場合など、重要なイベントが発生すると指定されたアドレスから通知メールが送信されます。[メッセージタブ](#) 内にこのようなイベントは記録され、確認することができます。

### 8.4.10 その他

その他のペインは役に立つかもしれない追加機能を提供します (下のスクリーンショット)。設定の変更後「Save」をクリックします。



Miscellaneous

Show hint how to receive evaluation licenses for a server product

Send a warning email if contact with a running product is lost.

#### 評価ライセンスの受け取りとデプロイに関するヒントを表示する

このボックスをチェックすると構成ページの上に評価ライセンスを評価しデプロイする短い説明が表示されます (上のスクリーンショット参照)。

#### 作動中の製品とのコンタクトが失われたら警告メールを送信する

ライセンス供与済みの製品とのコンタクトが失われると送信元アドレスから宛先アドレスの警告メッセージが送信されます。「警告電子メールの送信」オプションは、LicenseServer とクライアントマシン上で作動する) ライセンス供与済みの製品間のコンタクトがタイムアウトする都度電子メールの送信をオンとオフに切り替えることができます。タイムアウトは、クライアントからサーバーへの接続の間が変更することのできない定義済みの間隔を超えた場合、タイムアウトは発生します。(接続は常にクライアントから開始されることに注意してください。) 例えば、デスクトップ製品クライアントの場合、この定義済みの間隔は1分です。クライアントが最後の通信時から1分以上通信を取らない場合、接続はタイムアウトし、電子メール通知が送信されます。接続が再構築され、他のタイムアウトが発生すると、もう一度電子メール通知が送信されます。結果、ネットワーク上で問題が発生している場合、多数の電子メール通知が送信される可能性があります。この場合、「警告メッセージの送信」オプションをオフに切り替えます。このオプションは LicenseServer とクライアント間のコンタクトのみに関連することに注意してください。LicenseServer と altova.com にあるマスター LicenseServer 間の接続には関連しません。オプションがオフに切り替わられている場合でも、マスター LicenseServer との喪失された接続に関する電子メールの通知は送信されます。

## 8.5 メッセージ、ログアウト

「メッセージ」(Messages) タブは LicenseServer のライセンスプール内のライセンスに関連したすべてのメッセージを表示します。各メッセージには「削除」(Delete) があり特定のメッセージを削除することができます。

「ログアウト」(Log Out) タブはログアウトボタンとして機能します。タブをクリックすることにより、すぐにログインスクリーンが表示されます。

# インデックス

## A

**Altova LicenseServer,**  
 (LicenseServer を参照してください), 1  
**Altova ServiceController, 8**  
**Altova.com でのマスターサーバーとの通信 ,8**  
**Altova.com 通信周波数 ,8**

## D

**DiffDog Server,**  
 LicenseServer と登録する方法 30  
**DiffDog Server を LicenseServer と登録する方法 ,30**

## F

**FlowForce Server,**  
 LicenseServer に登録 31  
**FlowForce Server を LicenseServer に登録 ,31**

## L

**LicenseServer,**  
 DiffDog Server を登録する方法 30  
 FlowForce Server を登録 31  
 LicenseServer への切り替え 9  
 Linux へのインストール ,18  
 Linux 上でのインストールとセットアップ ,18  
 macOS へのインストール 24  
 macOS 上でのインストールとセットアップ 24  
 MapForce Server を登録 36  
 MobileTogether Server の登録 38  
 RaptorXML(+XBRL) Server と登録する方法 39  
 StyleVision Server を登録 40  
 Windows へのインストール ,13  
 Windows 上でのインストールとセットアップ ,13  
 インターフェイス 52

シャットダウン 9, 64  
 デスクトップ製品を登録する 29  
 のために冗長をセットする 9  
 プロキシサーバーを介してのインターネットへのアクセス ,  
 68  
 ライセンスの割り当て 47  
 ライセンスプール内でのライセンスの検証 67  
 異なるライセンスの種類の複数の 2  
 構成 63  
 構成ページ 52  
 製品の再登録 2  
 製品の登録 29  
 接続のテスト 67  
 設定 63

**LicenseServer のための接続のテスト ,67**  
**LicenseServer のバックアップ ,9**  
**LicenseServer パスワードリセット ,66**  
**LicenseServer への VPN 接続 ,5**  
**LicenseServer 構成ページ ,**  
 (構成ページを参照), 52  
 (構成ページ参照), 14, 21, 26  
**LicenseServer ^ MobileTogether Server を登録 ,38**  
**LICSVR ファイル ,7**  
**Linux 上でのインストールとセットアップ ,18**

## M

**macOS 上でのインストールとセットアップ ,24**  
**MapForce Server,**  
 LicenseServer に登録 36  
**MapForce Server を LicenseServer に登録 ,36**  
**MissionKit ライセンス ,2**  
**MobileTogether Server,**  
 LicenseServer ^ 登録 38

## R

**RaptorXML(+XBRL) Server,**  
 LicenseServer と登録する方法 39  
**RaptorXML(+XBRL) Server を LicenseServer  
 と登録する方法 ,39**

## S

- ServiceController, 8
- StyleVision Server,
  - LicenseServer に登録 ,40
- StyleVision Server を LicenseServer に登録 ,40

## W

- Web UI,
  - 構成ページ参照 ,68
- Windows 上でのインストールとセットアップ ,13

## Z

- アクティブな /非アクティブなライセンス ,44
- インストール済みのユーザーライセンス ,2
- クライアントの IP アドレス ,5
- クライアントのホスト名 ,5
- クライアントの登録の解除 ,60
- クライアントマシンの監視 ,62
- クライアント管理タブ ,55
- クライアント接続の中断に関する警告 ,71
- コアとライセンス ,4
- サーバー管理タブ ,47
- デスクトップ製品 ,
  - デスクトップ製品を登録する ,29
- デスクトップ製品を LicenseServer に登録する ,29
- デフォルトのパスワード ,14
- ネットワーク情報 ,
  - VPN を使用した接続 ,5
  - とクライアントの IP アドレス ,5
  - 接続のプロシージャ ,5
- パスワード,
  - リセット ,66
  - 開始のデフォルト ,14
- パスワードのリセット ,12
- パスワードをリセットする ,12
- フェールオーバー LicenseServer, 9, 64
- フェールオーバー LicenseServer 設定 ,64
- プロキシサーバー設定 ,68
- プロセッサ コアとライセンス ,4
- ブロックされたライセンス ,44
- マシン名 ,61
- マスターサーバー通信 ,8
- メッセージ ,71
- メンテナンスシャットダウン ,64
- ライセンス ,
  - アップロード ,43
  - アップロードと認証 ,43
  - 割り当て ,47
  - 製品への割り当て方法 ,57
  - 有効化 ,44
- ライセンスチェックアウト ,10
- ライセンスとコア ,4
- ライセンスのアップロード ,43
- ライセンスのステータス ,44
- ライセンスのチェックアウト ,10, 67
- ライセンスの割り当て ,47
- ライセンスの種類 ,
  - インストール済みのユーザー ,2
  - 同時実行ユーザー ,2
  - 名前の与えられているユーザー ,2
- ライセンスの有効化 ,44
- ライセンスプール ,43
- ライセンスプールタブ ,
  - 説明 ,52
- ライセンスプール内のライセンス ,
  - ライセンス認証 ,52
  - ライセンス認証の無効化 ,52
  - 削除 ,52
- リモートの製品の使用 ,
  - ライセンス ,7
- ログアウト ,71
- 仮想マシン ,
  - 以下にインストールされている製品のライセンス ,2
- 管理者インターフェイス ,52
- 更新 ,11
- 構成ページ ,52
  - (Linux) の URL ,21
  - (macOS) の URL ,26
  - IP アドレス設定 ,68
  - Linux で開く ,21
  - macOS で開く ,26
  - Windows で開く ,14
  - アクセスのための設定 ,68
  - の URL ,14
  - ポート設定 ,68
- 失敗した検証ライセンスステータス ,44
- 製品 ,

- 製品 ,
  - ライセンスの割り当て ,57
- 製品にライセンスを割り当てる ,57
- 製品の再登録 ,2
- 製品の登録の解除 ,42, 60
- 製品ライセンス ,
  - チェックアウトの方法 ,67
- 設定 ,63
- 単一スレッドの実行 ,57
- 中央サーバー上の Altova 製品 ,7
- 中断されたクライアントに関する電子メールでの警告 ,71
- 通知メール ,
  - サーバーイベント ,70
  - 管理者への送信 ,70
  - 設定 ,70
- 登録 ,
  - 複数の名前を持つマシンの問題 ,61
- 登録と登録の解除 ,
  - クライアントマシンと LicenseServer, 29
  - 製品と LicenseServer, 29
- 同時実行ユーザーライセンス ,2
- 評価ライセンス ,59
- 評価ライセンスのヒント ,71
- 評価ライセンスのリクエスト ,59
- 複数の名前を持つマシンの登録の解除 ,61
- 保留されたライセンス ,44
- 名前の与えられているユーザーのライセン ,2